

令和 4 年度主要施策の成果説明書

荒 川 区

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 233 条第 5 項の規定に基づき、
令和 4 年度荒川区歳入歳出決算に係る主要施策の成果説明書を提出しま
す。

令和 5 年 9 月 1 2 日

荒 川 区 長

西 川 太 一 郎

目 次

1	新型コロナウイルス感染症対策	1
2	生涯健康都市	5
3	子育て教育都市	14
4	産業革新都市	26
5	環境先進都市	43
6	文化創造都市	49
7	安全安心都市	56
8	計画推進のために	64

(参 考 資 料)

荒川区行政組織図	65
福祉・保健施設等位置図	66
子育て施設等位置図	67
教育・文化施設位置図	68
公園・児童遊園等及び運動施設位置図	69
区民事務所・ふれあい館・区民ひろば館・環境関連施設等位置図	70
広域避難場所・防災センター・防災広場等位置図	71

この成果説明書は、令和4年度当初予算の歳入歳出予算参考資料の主要事業について、その成果を掲載しています。

事業名の右側の数字は、 予算額、 決算額、 執行率を記載しています。
なお、【 】内の頁は、令和4年度荒川区各会計歳入歳出決算説明書の頁です。

1 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 新型コロナウイルス感染症予防接種事業

4,486,674 千円 3,794,820 千円 84.6%

【P211 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費】

希望する区民が適切にワクチン接種ができるよう、集団接種及び区内医療機関における個別接種、高齢者施設や障がい者施設への巡回接種、在宅要介護者宅等への訪問接種、エッセンシャルワーカーへの優先接種等、複数の手段を組み合わせたきめ細やかな接種を実施するなど、万全なワクチン接種体制を整備した。

事業実績

接種件数（全体）	181,426 件
集団接種件数	106,468 件
個別接種件数	66,384 件
その他件数	8,574 件

(2) PCR検査体制の確保

109,807 千円 42,511 千円 38.7%

【P211 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費】

民間検査機関の活用や医療機関との連携のもと、迅速かつ十分な検査体制を引き続き確保し、濃厚接触者などの行政検査が必要な方にPCR検査を実施した。

4年度においては、身近な医療機関で検査を受ける割合が増えたことや、抗原検査キットが普及したことなどから、保健所での実施件数が減り、執行率の低下につながった。

事業実績

検査人数	103,522 人
陽性者数	33,942 人
陽性率	32.8%

(3) 病床確保協力金支給事業 292,000 千円 171,400 千円 58.7%

【P211 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費】

入院治療を必要とする陽性患者が確実に病院に受け入れられるよう、関係医療機関と連携して病床を確保した。

事業実績 病床確保数 20 床 (4 医療機関と連携)

(4) 発熱患者等に対応する医療機関への補助

364,454 千円 295,313 千円 81.0%

【P211 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費】

発熱等の症状がみられる方が適切に診療・検査を受けられるよう、発熱患者等に対応する医療機関への補助を継続した。

事業実績

発熱外来及び診療検査対応をする医療機関への支援 67 医療機関

新型コロナウイルス感染症検査数 98,806 件

(5) 医療提供ステーションの設置・運営 142,041 千円 0 千円 0.0%

【P211 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費】

軽症、中等症の患者の重症化を防止するため、重症化リスクのある自宅療養者を対象に中和抗体薬療法を実施する機能を中心とした医療提供ステーションの設置を予定していたが、東京都が近接地に大型の酸素・医療提供ステーションを開設し、区民が入所しやすい施設が整備されたことや、新型コロナウイルス感染症の主流が、重症化リスクの高いデルタ株から、重症化しにくいオミクロン株に置き換わったことから、設置を見送ったため、未執行となった。

事業実績 なし

(6) 自宅療養者への医療支援等の充実

260,956 千円 222,023 千円 85.1%

【P211 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費】

自宅療養者の体調不良等の異変を素早く察知するため、看護師チームによる丁寧な健康観察を引き続き実施し、医療機関との連携のもと、医師による往診、看護師の訪問等、必要な医療支援につなげた。

このほか、解熱剤などの自宅療養に必要な薬が不足する場合に、迅速に自宅へ配達する体制、夜間・休日における健康相談、往診、処方を受けられる体制、食糧や日用品等を自宅へ配達する体制など、様々な取組を継続・強化し、自宅療養者をサポートした。

事業実績

自宅療養者医療支援 往診調整 401 件、医療相談 19 件

訪問健康観察 252 件

薬剤配達 4,642 件

食糧・日用品配達 408 件

パルスオキシメーター貸出 2,251 件

(7) 在宅要介護者の受入体制整備事業

18,123 千円 9,982 千円 55.1%

【P181 2(1) 介護サービス事業費】

在宅の高齢者や障がい者を介護する家族等が、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合に安心して療養等に専念できるよう、その濃厚接触者となった要介護者が緊急一時的に入所できる施設を確保したほか、在宅介護を希望される場合には、介護・看護事業所職員を派遣する体制を確保した。

事業実績 養護施設 2 件

医療機関 1 件

空床確保における費用 365 日分

(8) 高齢者施設等における従業者等の検査経費補助事業

20,760 千円 10,250 千円 49.4%

【P181 17 高齢者サービス等事業所 PCR 検査補助事業費】

高齢者施設等事業者が自主的に行う PCR 検査等の受検に要する経費の全部又は一部を補助することにより、地域の福祉を支える高齢者施設等の運営を支援した。

4 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少に伴い、補助事業の利用が低調であ

ったため、執行率の低下につながった。

事業実績

・介護事業所

延べ交付事業所数： 14事業所、交付額： 2,197千円

・障害福祉サービス事業所

延べ交付事業所数： 9事業所、交付額： 8,053千円

(9) 電話相談体制の強化

97,845 千円

93,999 千円

96.1%

【P211 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費】

区民の相談等にきめ細かく対応し、不安を軽減するため、引き続きコールセンターの医療スタッフを充実させるなど、相談体制の強化を図った。

事業実績 相談件数 21,132件

2 生涯健康都市

(1) 地域ぐるみでの健康づくりの推進 14,906 千円 11,098 千円 74.5%

【P207 6 地域ぐるみ健康づくり推進事業費】

区民の早世を予防し、健康寿命を延ばすことを目指し、生活習慣病の発症や進行を防ぐ健康的な生活習慣づくりに重点を置いた、「あらかわNO！メタボチャレンジャー」の育成、「あらかわ満点メニュー」や「外食栄養成分表示事業」等の食環境整備、「健康情報提供店」の普及、「禁煙チャレンジ応援プラン」をはじめとした受動喫煙防止・禁煙対策、「あらみん体操」等の健康づくり体操の普及、「ころばん体操」による介護予防強化など、地域での健康づくり活動を支援し、健康寿命を延ばす取組を実施した。

また、「あらかわ健康ウォーキングマップ」を活用した、身近にできるウォーキングを取り入れた健康づくり環境の整備を図った。

事業実績

- ・荒川ころばん体操・せらばん体操

実施回数 834回 参加者延べ人数 17,778人

- ・区報特集面

「がんを予防する5つの健康習慣」 10月1日号

(2) 東京女子医科大学東医療センター移転に伴う新病院の開設

1,217,248 千円 1,212,415 千円 99.6%

【P207 10 病院運営支援費】

東京女子医科大学東医療センター移転後も地域医療を維持し、さらなる向上を図るため、東医療センター移転後の跡地における新病院「令和あらかわ病院」の開設支援を行い、令和5年4月の開設につなげた。開設に当たっては、東医療センターの一部建物を改修して活用することで、地域医療の空白期間を最小限に抑えた。

新病院では総合的な診療科目に対応するほか、240床の病床を備え、日本医科大学付属病院と連携して365日24時間体制の救急医療を提供し、感染症にも対応できる体制を整えた。

事業実績 開設病床数 240床

(3) がん対策の推進 289,534 千円 267,173 千円 92.3%

【P211 4 がん検診費】

区民の死亡原因の4分の1以上を占めるがんへの対策として、荒川区がん予防・健康づくりセンター等において、胃・肺・大腸・乳房・子宮頸部の5つの部位について、国の指針に基づいた精度の高いがん検診を実施することにより、がんを早期に発見し、区民のがんによる死亡減少を図った。

また、学校と連携してがん予防出前授業を行い、健康的な生活習慣とがん検診の重要性、命の大切さを一緒に考える機会作りを積極的に行った。

事業実績	胃がん検診受診者数	11,863人
	(上記のうち胃内視鏡検診)	(4,176人)
	肺がん検診受診者数	13,361人
	大腸がん検診受診者数	17,601人
	乳がん検診受診者数	5,633人
	子宮頸がん検診受診者数	7,221人
	がん予防出前授業参加者数	10校 1,298人

(4) 糖尿病対策の推進 476 千円 176 千円 37.0%

【P211 6 糖尿病対策推進事業費】

一般栄養相談及び医療機関からの紹介を受けて糖尿病患者を対象に実施している「糖尿病栄養相談」を継続し、発症予防から重症化予防まで一貫した糖尿病対策の推進に努めた。

また、野菜から食べる「ベジ・ファースト」と、野菜を1日に350g以上摂る「野菜350」をホームページ等で推奨することで、糖尿病対策のさらなる充実を図った。

さらに、区民の早世予防と介護予防、健康寿命の延伸を図るため、荒川区糖尿病対策協議会及び区民向け講演会を開催した。

4年度は、「糖尿病栄養相談」について、新型コロナウイルス感染症の影響により医療機関からの糖尿病患者の紹介が少なかったため、栄養士の雇上げを行わずに区職員のみで実施したことから執行率が低下した。

事業実績	糖尿病栄養相談件数	11件
	区民向け講演会参加者数	28人

(5) 糖尿病重症化予防等による医療費の適正化

54,795 千円 40,837 千円 74.5%

【P299 8 医療費適正化対策事業費】

【P329 3 保健事業費】

診療報酬明細書（レセプト）等、医療健康情報を活用した医療費分析を行い、糖尿病の重症化予防対象者や多受診・重複多剤服薬対象者を抽出し、荒川区医師会や荒川区糖尿病対策協議会と連携して、服薬管理・食事療法・運動療法等の保健指導を実施した。

さらに、医療費分析により抽出された情報を活用して、被保険者にジェネリック医薬品の利用差額通知を送付し、ジェネリック医薬品への切替えを推進すること等により、医療費の適正化を図った。

事業実績	糖尿病重症化予防指導人数	23人
	多受診・重複多剤服薬者指導人数	6人
	ジェネリック医薬品差額通知送付件数	6,059件

(6) 生活困窮者の自立支援

181,736 千円 191,479 千円 105.4%

【P179 15 生活困窮者自立支援事業費】

生活困窮者の相談窓口として「仕事・生活サポートデスク」において、生活や住まいに困窮する方への居住支援（住居確保給付金・一時生活支援）や就労支援、家計に問題がある方への改善に向けた支援を実施した。

加えて、昨年度に引き続き、社会福祉協議会が実施する特例貸付を利用してもなお生活再建が困難な方に対し、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給し、就労による自立を促すとともに、就労が困難な方について円滑に生活保護の相談につなげた。

また、庁内関係部署やハローワーク、社会福祉協議会等の関係機関と緊密に連携を図り、個々の状況に合わせた相談支援を行うとともに、町会や民生委員、地域包括支援センター、居宅サービス事業者等との連携により、相談窓口や支援制度の周知及び要支援者の把握に努めた。

さらに、12月には、「あらかわひきこもり支援ステーション」を設置し、ひきこもり支援に関する相談窓口を一本化し、関連団体等との連携体制の強化等を図った。

事業実績	仕事・生活サポートデスク相談件数	4,025件
	（うち、ひきこもり相談件数 37件）	

(7) 高齢者みまもりネットワーク

151,024 千円 140,647 千円 93.1%

【P181 2(6) 緊急通報システム事業費】

【P181 2(11)高齢者みまもりネットワーク事業費】

【P181 2(16)高齢者配食見守りサービス事業費】

【P183 16 高齢者みまもりステーション運営事業費】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、緊急通報システムや、配食サービス、新聞販売店販売員等による見守りを行うとともに、高齢者みまもりステーションが拠点となり、ワンストップのサービスを提供した。また、地域包括支援センターと連携し、必要なサービスにつなげる等の支援を行うことで、高齢者の不安を和らげ、孤立化を防いだ。

事業実績

みまもり登録者数 5 , 1 0 3 人

緊急通報システム設置台数 9 2 8 台

配食見守りサービス 登録者数 1 , 0 3 4 人 (配食数 延べ 8 8 , 5 0 1 食)

(8) 高齢者の日常生活向上に向けた支援の充実

13,961 千円 13,069 千円 93.6%

【P181 2(7) 交通安全杖支給事業費】

【P183 2(19) 高齢者自立支援用具給付事業費】

【P183 2(20) 高齢者補聴器助成事業費】

歩行又は入浴が困難な高齢者が自立した在宅生活を継続できるよう、歩行杖の支給及びシルバーカー・手すり・シャワーベンチの給付を実施した。

また、加齢が原因で聴力が低下している高齢者に対し、新たに補聴器購入費の一部(上限額 : 2 5 , 0 0 0 円) を助成することにより、会話等が聞き取りやすくなることによる生活の質の向上や積極的な社会参加を支援した。

事業実績 補聴器助成件数 8 8 件

(9) 認知症施策のさらなる推進 74,003 千円 67,901 千円 91.8%

【P181 2(18) 認知症支援補助事業費】

【P435 1 介護予防普及啓発事業費】

【P437 3(2) 認知症サポーター等養成事業費】

【P439 1 認知症総合支援事業費】

認知症について区民の理解を深めるとともに、認知症地域支援推進員が中心となり、発症早期の対応と医療に結び付けることで進行を抑えられるように、ものわすれ相談や認知症初期集中支援チーム等の活用を進めることに加え、新たに認知症検診を実施することで、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのさらなる推進を図った。

事業実績

認知症講演会実施回数 2 回 (参加者数 延べ 1 6 2 人)

うち 1 回は動画配信で実施

認知症サポーター養成講座実施回数 4 0 回 (受講者数 延べ 8 3 1 人)

認知症オレنجカフェ助成事業補助件数 2 か所

(1 0) 基幹相談支援センターを中心とした相談支援体制の充実

30,577 千円 30,557 千円 100%

【P185 3(8) 基幹相談支援センター事業費】

区内の障がい者やその家族が抱える多岐にわたる困りごとについて、基幹相談支援センターが関係機関と解決を図るための中心的な役割を担うとともに、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりを行った。

また、障がいに関する困りごとや悩みごとについて、相談支援を行うとともに、相談支援事業者への専門的な指導・助言といった後方支援を行った。

事業実績 相談件数 2 , 0 0 7 件 (4 年 4 月 ~ 5 年 3 月)

医療的ケアに係る相談 6 0 9 件を含む

(1 1) 電話代行サービス及び遠隔手話通訳サービスの実施

5,214 千円 5,214 千円 100%

【P189 14(5) 聴覚障害者相談事業費の一部】

聴覚障がい者が区役所・病院等への連絡が必要な場合に、スマートフォンやタブレット端末のテレビ電話機能を使い、通訳コールセンターを介して、手話・筆談及び音声認識による文字表示で意思疎通を行う電話代行サービスを実施した。

また、区役所窓口等において、手話による円滑な手続を進められるようタブレット端末を配

置し、テレビ電話機能による通訳コールセンターを介した遠隔手話通訳サービスを行うとともに、筆談・音声認識による文字表示で手続き等の支援を実施した。

事業実績

電話代行サービス利用件数	5 3 6 件
遠隔手話通訳サービス利用件数	4 0 件

(1 2) 医療的ケア児等への支援

23,506 千円 10,291 千円 43.8%

【P189 19(2) 医療的ケア児等支援事業費】

医療的ケア児等とその家族に必要な関係機関やサービス等につなぎ、コーディネートする医療的ケア児等地域コーディネーターを基幹相談支援センターに新たに配置した。

また、在宅の医療的ケア児等と暮らすきょうだい児を養育する家庭に対してホームヘルパーの派遣を開始し、介護を行う家族等の家事負担軽減を図ることを通して、当該児童の学習、休養、余暇や保護者とのふれあい等の機会を確保した。

感染症対策のため、医療的ケア児等支援協議会を書面開催としたことや、ホームヘルパー派遣の登録世帯数が想定を下回ったこと等により、執行率の低下につながったものの、医療的ケア児等への支援のあり方を検討し、必要な周知を図った。

事業実績

医療的ケア児等地域コーディネーター相談件数 6 0 9 件

(4 年 4 月 ~ 5 年 3 月)

医療的ケア児等家庭家事サポート事業登録者数 1 0 件

(1 3) 重度障がい者グループホーム支援 12,334 千円 12,334 千円 100%

【P191 20(1) 重度障がい者グループホーム補助事業費】

重度の障がい者を受け入れる区内のグループホームに対して、運営費補助を実施することで、事業運営の安定及び入居の促進を図った。

事業実績 重度障がい者グループホーム運営費補助 3 件

(1 4) 親なき後の支援 6,968 千円 3,634 千円 52.2%

【P191 21 親なき後支援事業費】

障がい者の自立した生活を目指し、その将来像を描く「個人別ライフプラン」作成等の支援をライフプランナーによる個別相談で応じるとともに、成年後見制度の普及啓発及び利用支援を行い、障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整備した。

事業実績

成年後見制度区長申立て件数 1 件

個人別ライフプラン相談件数 5 8 件

(1 5) 介護予防のさらなる推進 436,096 千円 376,646 千円 86.4%

【P433 1 訪問型サービス事業費】

【P433 2 通所型サービス事業費】

【P433 4 その他生活支援サービス事業費】

フレイル予防や低栄養防止・口腔保健の向上等を目的とした講演会を実施するとともに、認知機能の向上や閉じこもり・孤立化防止を目的とした事業を実施した。

また、第一号介護予防通所・訪問事業、銭湯を活用した高齢者等の安心な入浴機会の確保など、自立した生活を支援し、介護予防のさらなる推進を図った。

事業実績

【訪問】

おうちでリハビリ 利用者数 延べ 5 5 6 人

おうちで栄養診断 利用者数 延べ 8 人

【通所】

まるごと元気アップ教室 利用者数 延べ 2, 2 7 5 人

食・動クラブ つる 利用者数 延べ 7 3 6 人

食・動クラブ かめ 利用者数 延べ 2, 4 9 6 人

【講座】

お口と食事の元気塾 参加者数 延べ 1 6 1 人

低栄養予防教室 参加者数 延べ 6 6 人

(1 6) 地域包括支援センターの機能強化 200,952 千円 181,009 千円 90.1%

【P437 1 総合相談事業費】

地域包括支援センターが地域の高齢者への総合的な相談支援窓口として、高齢者や家族からの介護保険サービスや介護予防プラン、権利擁護等の相談に総合的に対応するとともに、地域ケア会議等を通じて、地域の介護支援専門員の支援を行った。

また、課題が複雑化・困難化している高齢者やその家族への対応については、高齢者福祉課内の機能強化型地域包括支援センターが地域包括支援センターへの支援を行い、対応力の強化を図った。

事業実績	総合相談件数	延べ	69,822 件
	権利擁護に関する相談、支援件数	延べ	5,258 件
	ケアマネジメントに関する相談、支援件数	延べ	5,373 件

(1 7) 医療と介護の連携推進 8,164 千円 5,246 千円 64.3%

【P437 1 在宅医療・介護連携推進事業費】

高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活が送れるよう、必要なときに必要な医療や介護のサービスを切れ目なく提供できる体制の整備をより一層推進した。

また、在宅療養を支える多職種の専門職の連携を強化するため、在宅療養連携推進会議や医療連携会議を開催し、各部門の活動の共有や顔の見える関係づくりを進めるとともに、医療連携シートを活用した入退院時の情報共有を推進した。

併せて、在宅療養への備えや看取りについて、区民の理解を深める講演会等を開催した。

事業実績

在宅療養連携推進会議 2 回 (書面による開催)

医療連携会議 2 回

医療福祉相談件数 751 件

(1 8) 地域資源を活用した生活支援体制の整備

55,514 千円 50,266 千円 90.5%

【P437 1 生活支援体制整備事業費】

住民主体による地域活動団体「(通称)地域パートナーの会」による活動報告会の実施や講演会の開催を通じ、地域で活動する個人や団体間の交流を深め、地域ニーズと活動のマッチングを活性化させ、生活支援サービスの基盤となるネットワークを構築した。

事業実績

地域活動報告会 4 回

地域活動希望者「担い手」登録数 23 人

3 子育て教育都市

(1) 多胎児世帯支援補助の充実 9,959 千円 4,062 千円 40.8%

【P195 5 育児家庭支援事業費の一部】

【P213 1 妊産婦保健指導費】

多胎児家庭は妊娠、出産及び育児による心身の負担が大きいことから、妊娠期からその負担を軽減するための支援が必要である。

そのため、多胎児妊婦について4年度から妊婦健康診査費用の追加助成を導入した。

さらに、多胎児を養育する家庭に対して、新たに産前、産後の家事・育児支援（ヘルパー利用料助成）を行うとともに、これまで実施してきたタクシー利用料助成の対象者年齢を2歳までから5歳までに拡大した。

新たに4年度から実施したヘルパー派遣利用助成については、新型コロナウイルス感染症等の影響により利用が抑えられたことで、予測を下回る執行率となったが、窓口での積極的な周知により26世帯の利用登録があった。従前から行っているタクシー利用料助成については、燃料費高騰によるタクシー料金改定に合わせ、タクシー利用料助成の上限額を引き上げる等のきめ細やかな支援を実施したことで利用実績は増加した。

事業実績

妊婦健康診査追加助成 助成件数：0件

産前産後支援ヘルパー派遣事業

利用登録世帯数：26世帯、利用時間数：896時間

タクシー利用料金助成・一時保育等利用料助成

利用世帯数：タクシー99世帯、一時保育等16世帯

(2) 子どもの居場所事業の拡充及び子ども食堂の推進

18,807 千円 12,195 千円 64.8%

【P195 9 子どもの居場所づくり事業費の一部】

区内14か所で、学習支援や夕食を提供する生活支援など、子どもの居場所や子ども食堂を行う団体への支援を充実し、支援を要する子どもの健全な育成を図った。

4年度は、子どもの居場所事業の運営団体の活動のうち、不登校、ひきこもりの状態にある子どもに対し、アウトリーチ型で社会活動に参加できるよう支援する活動に対しても、その実施経費の一部を補助した。

また、新たな子ども食堂の開設支援とともに、子どもの居場所や子ども食堂などの実施団体や関係機関で構成するあらかわ子ども応援ネットワークの活動を支援した。

事業実績

子どもの居場所	7 か所	延べ利用者数	6,303 人
子ども食堂	6 か所	延べ利用者数	1,529 人

(3) 保育所・幼稚園の給食費負担減免

342,451 千円	272,380 千円	79.5%
------------	------------	-------

【P195 10 私立幼稚園等補助事業費の一部】

【P195 13 私立保育園補助事業費の一部】

【P197 5 保育園管理運営委託費の一部】

【P197 4 保育園委託実施費の一部】

幼児教育・保育の無償化に伴い、実費徴収とされた 3 ～ 5 歳児の保育所の給食費を、区独自の公費負担により無料としたほか幼稚園の給食費を月額 7,500 円まで無償化することを継続し、保護者の負担軽減を図った。

事業実績

認可保育所(公立、公設民営、私立保育所等、年間延べ) 21,367 人

私立幼稚園等(幼稚園類似の幼児施設、認定こども園含む) 1,237 人

(4) 保育園及び幼稚園従事職員等への宿舍借り上げ支援

372,855 千円	194,007 千円	52.0%
------------	------------	-------

【P195 10 私立幼稚園等補助事業費の一部】

【P195 13 私立保育園補助事業費の一部】

【P199 11 家庭福祉員事業費の一部】

【P199 12 認証保育所助成事業費の一部】

保育園及び幼稚園の従事職員用に宿舍の借り上げを行う事業者に対し、区がその経費の一部を補助することにより、保育人材の確保、定着及び離職防止を図った。

事業実績 荒川区保育従事職員宿舍借上支援事業補助金 補助対象 273 人

(5) 保育士及び幼稚園教諭への奨学金支援制度

16,775 千円 9,600 千円 57.2%

【P195 16 保育士等奨学金事業費】

区内私立保育園等に保育士として5年間継続して勤務することを要件に、返済を免除する奨学資金の貸付を実施することにより、保育士を目指す方への支援を行った。

また、区内私立保育園又は私立幼稚園等に保育士又は幼稚園教諭として就職した方に対し、奨学金の返済費用を支援することにより、保育人材の確保、定着及び離職防止を図った。

事業実績

荒川区保育士等支援奨学金事業補助事業

補助対象者数 65人

補助額 9,353千円

荒川区保育士等入学準備奨学金貸付事業

補助対象者数 0人

補助額 0千円

(6) 児童養護施設の誘致

352,859 千円 342,780 千円 97.1%

【P195 19 児童養護施設等整備事業費】

様々な理由により親と一緒に暮らすことのできない子どもたちを養育するとともに、里親支援事業やショートステイ事業の実施など、社会的養護と地域の子育て支援の取組を推進するため、荒川八丁目の区有地に児童養護施設を誘致した(3・4年度建設工事、5年度開設)。

事業実績

○施設情報

名称 クリスマス・フォレスト

所在地 荒川八丁目14番10号

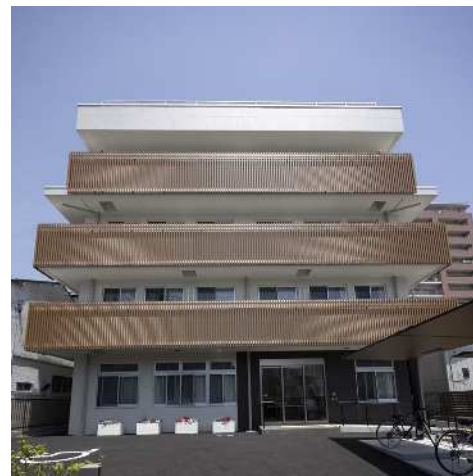
敷地面積 801.04 m²

構造、規模 鉄筋コンクリート造、4階建

延床面積 1370.26 m²

開設年月日 令和5年4月1日

主な施設 居室、食堂、心理検査・プレイルーム、
ショートステイ、地域交流室 等



(7) 定期利用保育の実施

4,458 千円 560 千円 12.6%

【P197 1 管理運営費の一部】

保育園の空きスペース等を活用し、保育需要の高い1・2歳の児童を対象に、一定期間継続的に保育を行うことにより、安心して子育てできる環境を整備した。

4年度は、少子化により就学前児童人口が減少したことや、長年にわたり保育施設の整備等を進めたことにより、利用実績が想定を下回った。

事業実績

区立保育園(1園)6人

(8) ひとり親家庭の支援

8,540 千円 7,834 千円 91.7%

【P199 1 ひとり親家庭相談事業費】

【P199 7 家庭相談事業費】

家庭相談員が離婚の手續などの相談を受けた際に、養育費の履行確保に向けた公正証書作成費用の助成事業につなげることにより、離婚後の生活及び子育てなどの不安軽減に努めた。

また、ひとり親家庭アンケート(3年毎に実施)の調査結果をもとに、ひとり親家庭に必要な支援策についての分析・検討を行った。

事業実績

ひとり親家庭相談	延べ	件数	1,613 件
家庭相談	延べ	件数	94 件
公正証書等作成促進補助金交付	延べ	件数	9 件

(9) 放課後子ども総合プランの推進

1,000,508 千円 874,138 千円 87.4%

【P201 8 放課後子ども総合プラン等事業費の一部】

全児童を対象に、学校施設等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設ける放課後子ども教室（にこにこすくーる）を実施し、遊び、勉強、スポーツ、文化活動など様々な活動を通して、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を育んだ。

また、放課後子ども教室と学童クラブを一体的に整備・運営し、両事業を利用する児童が体験プログラムと一緒に参加できる環境を整え、交流を図る「放課後子ども総合プラン」を推進した。

事業実績

にこにこすくーる実施校：24 校（全校実施）

一体型総合プラン実施校：16 校

連携型総合プラン実施校：7 校

(10) 学童クラブの充実

283,028 千円 274,912 千円 97.1%

【P201 9 学童クラブ運営費の一部】

保護者の就労等により、放課後に適切な保護を受けられない児童に対し、遊びと生活の場を提供するため、学童クラブ事業を実施した。

4 年度は、学童クラブの需要増に対応するため、日暮里学童クラブをひぐらしふれあい館へ移転し、ひぐらし学童クラブ（定員 50 → 80 名）を開設するとともに、安定した供給体制を確保するため、定員を拡大した。

事業実績

学童クラブ実施か所数：28 か所

学童クラブ定員：2,085 名

(1 1) 荒川遊園リニューアル等

631,439 千円 574,130 千円 90.9%

【P201 1 荒川遊園管理費】

【P201 2 荒川遊園事業費】

【P229 7 荒川遊園 P R 事業費】

約 3 0 年ぶりの全面的な改修工事により、観覧車等の大型遊具や新設の室内遊び場などを一新するとともに、ホスピタリティ溢れる運営体制を構築し、ハード・ソフト両面から来園者が安全・安心に笑顔で楽しんでいただける遊園地として、令和 4 年 4 月 2 1 日にリニューアルオープンした。

また、夜間開園を実施し、季節ごとにイルミネーションの変更やバージョンアップを施すことで、新たな魅力を創出した。

さらに、リニューアル後の見所や周辺スポットに関する情報発信を幅広く行うとともに、関係部署と協力し、遊園内を舞台にした謎解きイベント等を通して誘客を図った。

事業実績

来園者数：385,937 人

10 月までは事前予約制による
入園制限があった。

謎解きイベント（観光振興課実施）

実施回数：

2 回(夏季(8～9 月)、

秋季(10～12 月))

参加者数(キット販売数)：合計 1,353 人



(1 2) 児童虐待防止対策事業の推進

1,850 千円 1,154 千円 62.4%

【P201 2 子ども家庭総合センター事業費の一部】

要保護児童対策地域協議会など地域における関係機関との連携をより一層強化し、支援が必要な子どもや家庭を早期に発見又は把握し、個々の状況に応じた迅速な対応を図った。

また、児童虐待防止啓発用リーフレットや児童向けのカードを作成、配布を行う等、広く区民に対し児童虐待防止のための普及啓発活動を行った。

(1 3) 出産・子育て応援事業 18,296 千円 14,404 千円 78.7%

【P213 1 妊産婦保健指導費】

妊娠届出の際に、助産師等が全ての妊婦を対象に面接を行い、それぞれの実情に応じた支援プランを作成し、かかりつけ保健師を中心とした妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築を図った。

また、面接の際には、妊産婦の子育てに関するカタログギフトを配付し、面接率の向上を図るとともに、妊婦や家族との関係づくりの機会とした。

事業実績 ゆりかご面接実施件数 1,625人

(1 4) 乳幼児健診の充実 62,351 千円 55,256 千円 88.6%

【P213 2 乳幼児保健指導費】

法律等で定められた時期に健康診査を実施することで、疾病等の早期発見に努め、養育者への適切な情報提供や保健指導により育児不安の解消を図った。

事業実績

4 か月児健診受診者数 1,580人

1 歳 6 か月児健診受診者数 1,482人

3 歳児健診受診者数 1,550人

(1 5) ハートフル日本語適応指導

11,706 千円 9,542 千円 81.5%

【P247 11 教育事業費の一部】

区立小学校・中学校・幼稚園・こども園に在籍する日本語指導が必要な児童・生徒・園児に対して、日本語初期指導を行い、学校生活や社会生活にスムーズに適応できるよう支援した。

また、特に継続指導が必要な小学校 5・6 年児童及び中学校生徒を対象に、補充学習教室を実施した。

事業実績 初期指導及び補充学習指導延べ人数 94人

(1 6) 防災ジュニアリーダーの育成 2,254 千円 1,689 千円 74.9%

【P247 11 教育事業費の一部】

区立中学校における「荒川区中学校防災部」の活動を通じ、中学生に「助けられる人から助ける人へ」という意識や思いやりの心の醸成を図り、将来、防災活動のみならず、地域活動に貢献できる防災ジュニアリーダーを育成した。

事業実績 防災部 部員数 289人

(1 7) 中学 1 年生の基礎学力向上事業

9,584 千円 9,504 千円 99.2%

【P247 6 基礎学力向上費の一部】

区立中学 1 年生を対象とし、夏季休業を中心とした期間に各生徒の学習到達度に合わせた補習の機会を全中学校において設けた。教科は、英語、数学の 2 教科を重点教科とし、一人ひとりの学習到達度に合わせた内容とすることで、基礎的な学力のさらなる向上、学習習慣の定着につなげた。

事業実績

事業参加生徒数：224名、実施期間：7月～12月

(1 8) タブレット P C を活用した学校教育の充実

752,952 千円 744,292 千円 98.8%

【P251 11・255 11 教育用コンピュータ運営費の一部】

【P247 6 基礎学力向上費の一部】

児童生徒の基礎的な学力を定着させるため、タブレット P C を用い、児童生徒が自ら意欲的に学べるデジタル教材(ドリル型コンテンツ)を授業等で活用する取組を全小中学校で実施し、児童生徒の主体性の育成を図った。

また、タブレット P C 1 人 1 台体制のもと、学校でも家庭でも学ぶことができるオンライン学習のための環境整備を図った。

さらに、「情報教育アドバイザー」を各校に週 1 回 3 時間程度派遣し、タブレット P C 等の I C T 機器を効果的に活用した授業の進め方などに関するアドバイスを通し、I C T 教育全体にかかる学校支援を充実させた。

事業実績

タブレット P C 配備数 14,722 台

情報教育アドバイザー派遣回数 1,700回

(19) 小中学校英語教育の推進

100,171 千円 91,573 千円 91.4%

【P247 7(1) 英語教育の充実・強化】

【P247 7(2) 英語教育の充実・強化の一部】

英語による実践的なコミュニケーション能力を身に付けられるよう、小学校1年時より週1時間、英語の授業を実施した。

また、全小中学校に外国人英語指導員を配置し、児童生徒が外国人英語指導員と日常生活の中で会話する機会を増やすことにより、英語による国際コミュニケーション能力の向上を図った。

(20) 英語検定受検料補助

4,101 千円 2,755 千円 67.2%

【P247 7(2) 英語教育の充実・強化の一部】

全ての区立中学3年生を対象に、英語の4技能である「聞く・話す・読む・書く」の習得を客観的にとらえることができる実用英語技能検定の受検費用の補助を行うことで、実用英語技能検定の受検機会を確保し、英語力の育成につなげた。

事業実績

5月実施分 347名

10月実施分 225名

1月実施分 4名

(21) 算数・国語大好き推進事業

60,490 千円 53,050 千円 87.7%

【P247 8 算数・国語大好き推進事業】

全ての学びの基礎となる算数と国語について、ティームティーチング等により、小学校1・2年時に、一人一人の子どもの状況に応じたきめ細かい指導を実施した。

事業実績

講師配置校 19校、配置講師数 41名

(2 2) 学校パワーアップ事業

106,431 千円 94,408 千円 88.7%

【P247 11 学校パワーアップ事業】

確かな学力の定着・向上を図るため、各校が「学力向上マニフェスト」を作成し、保護者・区民に明らかにするとともに、その結果を公表した。

また、学校教育ビジョンに掲げる「こころとからだの健全な育成」、「体験的な学習活動」の推進等を踏まえた、各学校の特色ある教育活動をより充実・活性化させるため、各校の創意工夫にあふれる教育活動を支援した。

(2 3) 教育相談事業の推進

71,884 千円 67,998 千円 94.6%

【P249 1 教育相談費の一部】

児童生徒の問題行動の減少や不登校問題の解決を図るため、教育と福祉の両面に専門性がある「スクールソーシャルワーカー」を教育センターに配置するとともに、心理専門相談員による小中学校に対する巡回相談を実施した。

また、4年度からスクールソーシャルワーカーを2名増員し、教育相談体制を強化した。

事業実績

(小学校) 巡回相談実施回数 1 , 8 5 7 回

(中学校) 巡回相談実施回数 1 , 5 5 4 回

(2 4) 国語力の向上

1,068 千円 784 千円 73.4%

【P249 3 学校図書館支援事業の一部】

荒川区版「推薦図書リスト」を全小中学校に配付し、学校図書館の豊富な蔵書を生かした読書活動を一層推進するとともに、「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」や「あらかわ小論文コンテスト」を実施するなど、国語力の向上を図った。

事業実績

区立図書館を使った調べる学習コンクール 応募数 7 , 6 0 5 点

あらかわ小論文コンテスト 応募数 9 , 6 4 7 点

(2 5) 学校図書館活用の支援・推進

176,927 千円 173,004 千円 97.8%

【P249 3 学校図書館支援事業の一部】

児童生徒の読書活動及び学習活動を支援するため、蔵書の充実・更新を図った。

加えて、全小中学校に、専門的な立場から学校図書館の運営や読書活動等を推進する学校司書を配置するとともに、小学校の大規模校に、学校図書館補助員を配置し、学校図書館のさらなる活用を図った。

また、学校図書館に関する高度な専門性と識見を有する「学校図書館長支援員」、「学校図書館スーパーバイザー」、「教育センター司書」を教育センターに配置し、学校の読書活動を支援するとともに、司書教諭と学校司書が連携した授業での学校図書館の活用を全小中学校において実践した。

さらに、小中学校間や学校と地域との連携を図るため、「尾久地区読書活動活性化モデル事業」を推進した。

(2 6) 特別支援教育の推進

476,649 千円 397,940 千円 83.5%

【P249 5 特別支援教育推進費の一部】

特別支援学級や通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒の学校生活や学習活動の支援を行う支援員や補助員・介助員を配置し、安定的な支援体制の構築を図った。

また、特別支援教室拠点校の拡充、特別支援教育アドバイザーによる巡回相談の充実、医療的ケア児の受入体制の構築など教育環境の充実を図った。

(2 7) ワールドスクール

11,914 千円 6,013 千円 50.5%

【P251 8・P255 7 学校行事の一部】

英語教育の一環として、小学校6年生の児童が清里高原ロッジ・少年自然の家において、外国人英語指導員とともに4泊5日の共同生活を行うことにより、授業で学んだ英語に慣れ親しむとともに、生活に密着した英語力を培い、国際コミュニケーション能力の向上を図る小学校ワールドスクールを実施した。元年度までは、4泊5日で実施していたが、カリキュラム内容を精査し、4年度より3泊4日で実施した。

中学生は、特別区全国連携プロジェクトで連携している秋田市の協力のもと、公立大学法人国際教養大学のプログラムに参加する中学校ワールドスクールを予定していたが、受け入れ先からの要請により中止した。

事業実績 小学校ワールドスクール参加児童数 115人

(2 8) 教育ネットワークシステムの運用

254,511 千円 223,317 千円 87.7%

【P251 11・P255 11 教育用コンピュータ運営費の一部】

高速通信回線を使用した教育ネットワークの環境を活用し、教科指導におけるＩＣＴ活用、校務の効率化、情報セキュリティの強化等によって、教育内容の質の向上を図った。

事業実績 教育ネットワークの整備(小学校 2 4 校、中学校 1 0 校)

(2 9) 学校給食の内容充実

74,188 千円 70,073 千円 94.5%

【P253 1・P257 1 給食事業運営の一部】

「食育推進給食」として、献立等に工夫をこらした給食を実施することにより、食を考える機会を作るなど、食育啓発や給食内容の充実を図った。

さらに食材の物価高騰を受け、食育推進給食を年 3 回から、1 3 回に拡充した。

事業実績 食育推進給食による内容充実(小学校 2 4 校、中学校 1 1 校(九中夜間含む))

(3 0) 家庭教育・地域の教育力向上の支援

4,140 千円 2,280 千円 55.1%

【P171 10(1) 家庭教育の向上】

【P171 10(2) 地域の教育力向上】

子育ての不安・負担感の軽減や「親育ち」につながる学習機会の提供、地域の教育力向上のため、動画配信やオンライン講座等の手法も活用しながら家庭教育学級・地域子育て教室等を実施した。加えて、子育てサークルや保護者会等が実施する自主的な講座等に対する支援を行った。

事業実績

・家庭教育学級

講座回数 1 3 回、参加人数 4 2 3 人

動画視聴回数(2 講座で 2 動画を配信) 4 3 9 回

・地域子育て教室

講座回数 6 回、参加人数 4 3 9 人

・あらかわ「親育ち」支援事業

事業数 9 回 参加人数 2 5 9 人

・地域教育力向上支援事業

支援団体数 6 団体

4 産業革新都市

(1) 消費者啓発 2,888 千円 2,306 千円 79.8%

【P223 3 消費者啓発事業費】

複雑化する消費者被害を未然に防止するため、引き続き消費者講座を開催し、相談事例集や消費生活センターの周知用グッズ等を配布した。

また、高齢者の消費者トラブル防止のための啓発チラシを関係機関と連携して消費生活みまもり協力団体や、ひとり暮らし高齢者等に配布するなど、悪質商法、特殊詐欺の防止に努めた。さらに、成年年齢引下げに伴う若年層への啓発を図った。

事業実績

出前講座 83回(うち資料提供のみ12回、学校での開催2回)

小学6年生及び中学3年生への消費者啓発冊子配布 約2,800部

(2) 消費者相談 24,667 千円 24,478 千円 99.2%

【P223 4 消費者相談事業費】

区民等の消費生活に関する相談に対し、情報提供や助言、あっ旋、他機関への紹介を行い、区民生活の安定・向上を図った。

また、多重債務者問題に対応するため、弁護士による特別相談を実施した。

事業実績 相談件数 1,762件

(3) 中小企業融資 1,630,874 千円 1,511,226 千円 92.7%

【P223 1 融資事業費】

厳しい経営環境にある区内中小企業に対し、経営の安定、活性化及び事業承継をより一層推進するため、融資借受に伴う金利や信用保証料の負担軽減策を実施し、円滑な資金繰りを支援した。

また、燃料価格高騰や仕入価格の高騰に対応するため、低金利の経済急変対応融資(原油価格・物価価格高騰等対応)のあっせんを実施し、区内中小企業の資金調達の支援を行った。

事業実績

融資あっせん件数・金額 1,728件 11,496,840千円

融資実行件数・金額 1,577件 10,003,840千円

利子補給 194,608千円

信用保証料の補助

356,566千円

(4) 区内中小企業景況調査

555千円 510千円 91.9%

【P223 2 区内中小企業景況調査費】

四半期ごとに区独自で区内企業の景況調査を行い、様々な業種のタイムリーな景況の把握に努めた。

事業実績 200事業所を対象に調査(四半期ごとに一回)

第1四半期 171事業所 (回収率85.5%)

第2四半期 165事業所 (回収率82.5%)

第3四半期 172事業所 (回収率86.0%)

第4四半期 157事業所 (回収率78.5%)

(5) 産業情報紙の発行

5,752千円 5,712千円 99.3%

【P223 3 産業情報紙発行費】

区内事業者や産業団体等に対する情報提供の充実を図るため、産業情報紙「あらかわ産業ナビ」を隔月発行した。

事業実績

発行回数：6回(奇数月発行)

発行部数：各回7,000部発行

(6) 中小企業倒産防止共済等加入助成

5,440千円 3,975千円 73.1%

【P223 5(2) 中小企業倒産防止共済等加入助成事業】

国が実施する「中小企業倒産防止共済制度」や「小規模企業共済制度」に、新たに加入する事業者の掛金の一部を助成し、連鎖倒産の防止や経営者の事業廃止後の生活安定を支援した。

事業実績

中小企業倒産防止共済加入助成 助成件数 20件

中小企業退職金共済加入助成 助成件数 0件

小規模企業共済加入助成 助成件数 30件

(7) 高度特定分野専門家派遣 3,789 千円 2,013 千円 53.1%

【P223 5(4) 高度特定分野専門家派遣事業】

区内企業の経営課題の解決や経営基盤強化、さらに高度化・高付加価値化する新製品・新技術開発や各種補助金の申請書作成を支援するため、実務に精通している専門家を派遣した。

事業実績 派遣時間 45 件 165 時間

(8) 中小企業者の経営力向上の支援 55,441 千円 52,846 千円 95.3%

【P223 5(5) 製造業等企業価値向上支援事業】

労働生産性向上につながる設備投資やＩＣＴツールの導入、多様な主体が活躍できる環境整備等を行う区内中小企業に対し、経費の一部を助成するほか、中小企業診断士等の外部専門家による助言を併せて行うことで、企業価値を向上させるための取組を支援した。

事業実績 設備投資等補助 助成件数 42 件

(9) 次世代へのバトンタッチ（事業承継・終了）支援

12,903 千円 9,418 千円 73.0%

【P225 5(6) 次世代へのバトンタッチ（事業承継・終了）支援事業】

区内事業者における経営者の高齢化や事業廃止の動向等を踏まえ、定期的なセミナーの開催による事業承継への意識啓発をはじめ、区内の商工団体及び金融機関等の関係団体との連絡協議会の開催、事業承継の専門家による訪問相談、事業承継を契機とする前向きな設備投資等への助成、後継者育成のための後継者塾の開講等、次の世代へ円滑な承継ができるよう、「早期の準備」を多面的に支援した。

事業実績

セミナー開催回数	3 回（対面 2 回 参加者 21 名） （動画 1 回 視聴回数 86 回）
フォーラムの開催回数	1 回（参加者 24 人）
訪問相談件数	20 回（16 社）

(1 0) モノづくり企業の地域共生の推進 21,500 千円 2,744 千円 12.8%

【P225 5(7) モノづくり企業地域共生推進事業】

地域との共生を図る取組を通じて、持続的な発展を希望する区内事業者が行う防臭・防災・防振にかかる設備の改修等に要する経費の一部を助成することで、近隣の生活環境の改善・向上を図るとともに、区内における事業の継続を支援した。

ホームページや区報等により積極的に本事業のPRに努めたが新型コロナウイルス感染症の影響による経営状況の悪化で、資金繰り不安等がある中、直接的に自社の収益につながらない操業環境改善や耐震補強等への取組を事業者が控えたこと等により、区内事業者からの申請が想定より少なかったため執行率の低下につながった。

事業実績 助成件数 1 件

(1 1) S D G s 活用経営推進事業 5,291 千円 2,238 千円 42.3%

【P225 5(8) S D G s 活用経営推進事業】

S D G s の拡がりに伴う新たなニーズ等を取り込んだ新製品開発に対し、経費の一部を助成したほか、啓発セミナーを通じて S D G s を活用した事業経営の推進を支援した。セミナーの開催にあたっては、区と包括連携協定を締結している企業と連携することで、事業の相乗効果を図るとともに一部経費の削減にもつながった。また、補助金の採択を受けた事業者のうち、原油高・物価高騰等の影響による資金繰り不安等を理由に製品開発が停滞した事業者がいたため、執行率の低下につながった。

事業実績

S D G s 活用経営推進事業補助金
助成件数 3 件

S D G s 活用経営セミナー
開催件数 2 回

(1 回目 1 3 人、2 回目 5 5 人)

1 回目は日暮里経営セミナー
と合同開催



(1 2) 事業・業態転換等支援事業 23,476 千円 22,936 千円 97.7%

【P225 5(9) 事業・業態転換等支援事業】

新型コロナウイルス感染症の影響による社会構造等の変容を受け、事業転換や業態転換等を通じた新たなビジネスモデルを創出する区内企業の取組に対し、経費の一部を助成することにより、区内産業のさらなる活性化を図った。

事業実績 助成件数 36 件 (産業振興課分：27 件、経営支援課 9 件)

(1 3) 経営革新等支援 26,397 千円 22,484 千円 85.2%

【P225 6(1) 経営革新等支援事業】

新製品・新技術の開発、見本市や催事等への出展、ISO 認証取得、産業財産権取得、従業員の人材育成に取り組む区内企業に対し、経費の一部を助成することにより、経営の革新を支援した。

事業実績

新製品・新技術開発	助成件数	7 件
見本市出展	助成件数	58 件
ISO 認証取得	助成件数	0 件
産業財産権取得	助成件数	21 件
セミナー等受講	助成件数	6 件
魅力発信動画制作補助	助成件数	12 件

(1 4) あらかわ経営塾の運営 1,716 千円 1,121 千円 65.3%

【P225 6(2) あらかわ経営塾運営費】

区内企業の経営革新への取組を支援するため、経営者、経営幹部、後継者等を対象に、中小企業等経営強化法に規定する「経営革新計画」等の策定を通じ、戦略的な経営計画の策定と計画推進のための手法を習得する経営塾を開催した。

事業実績 あらかわ経営塾修了者 9 人

(1 5) 日暮里経営セミナー

335 千円 5 千円 1.5%

【P225 6(3) 日暮里経営セミナー事業】

4 年度は当初予定していたセミナー動画の録画配信を行わず、対面及びオンラインで実施したため、動画撮影・編集費用を要しなかったことから執行率が低下したが、業務連携を行っている独立行政法人中小企業基盤整備機構と共催して「日暮里経営セミナー」を2 回開催し、区内企業の競争力強化等に有益な情報を提供した。

事業実績

セミナー開催回数 2 回 (1 回目 1 3 人、2 回目 1 5 人)

(1 6) 製造事業者等の販路開拓支援の強化

17,856 千円 15,922 千円 89.2%

【P225 6(5) 販路開拓支援事業】

機械要素・加工技術を集めた日本最大級の専門展示会である「機械要素技術展」への共同出展を行い、製造事業者の企業間取引 (B t o B) における販路開拓を支援した。

また、元年度に新たに立ち上げたモノづくりブランド「a r a ! k a w a」によるブランド認定や情報発信等の取組を通じ、消費者向け販売 (B t o C) における販路開拓を支援するとともに、「モノづくりの街あらかわ」を広く P R した。

併せて、販路開拓のノウハウを学ぶ「販路開拓セミナー」の開催、「販路開拓コーディネーター」による事業者への個別支援により、事業者の販路開拓力の向上を支援した。

事業実績

セミナー開催回数 3 回

(第 1 回 参加者数 7 人)

(第 2 回 参加者数 2 人) ワークショップ形式

(第 3 回 参加者数 1 7 人)

(1 7)新製品・新技術大賞 3,031 千円 2,609 千円 86.1%

【P225 6(6) 新製品・新技術大賞】

区内企業が開発した優れた新製品・新技術のうち、優秀と認められるものを表彰することで、新製品・新技術の開発を促すとともに、受賞した製品・技術のPR等を通じて「モノづくりの街あらかわ」の振興を図った。

事業実績

最優秀賞 1 件

優秀賞 3 件

入賞 3 件

(1 8) 企業情報化支援事業 4,973 千円 4,586 千円 92.2%

【P225 7 企業情報化推進事業費】

ホームページやSNS、動画の活用などデジタルマーケティングをテーマとしたセミナーの実施を通して、区内企業の販売促進を支援した。

加えて、新たにデジタルツールの導入に関するセミナーを行うことにより、デジタル化への機運を醸成するとともに、導入を進める事業者には専門人材を派遣し、伴走型の支援を行うことで、区内企業の生産性及び企業競争力の向上を図った。

事業実績

ICT 活用セミナー参加者数 19 名

デジタル化推進オンラインセミナー参加者数 15 名

専門家による伴走支援 4 社 延べ19回

(1 9) モノづくりクラスターの形成促進 28,141 千円 26,984 千円 95.9%

【P225 8(1) モノづくりクラスター形成促進事業】

顔の見えるネットワーク構築やフロントランナーの育成を軸とした荒川版産業クラスターの形成を目指す「荒川区モノづくりクラスター(MACC:マック)プロジェクト」を推進した。

また、MACCコーディネーターによる企業に対する支援・マッチング等を積極的に実施することにより、新事業・ベンチャー企業の創出、既存企業の第二創業や経営革新を図り、区内産業の活性化を促進した。

事業実績 オンラインセミナー参加者数 15 名

(2 0) 産学連携の推進

14,425 千円 11,271 千円 78.1%

【P225 8(2) 産学連携推進事業】

大学・研究機関等と連携して新製品・新技術の開発に取り組む区内企業に対し、経費の一部を助成する等により、新事業の創出を通じた区内産業の活性化を図った。

また、地域金融機関及び大学と連携し、区内企業の経営者層に対し、経営デザインや事業再構築等に関する思考プロセスを学ぶ場を提供することで、区内企業の発展につながるよう支援を行った。

事業実績

産学連携研究開発助成 1 件

- ・高繰り返し炭酸ガスレーザー発振器の製品化に関する研究

地域産業活性化研究助成 3 件

- ・「『使ってみよう』あらかわ BCP シートワークショップの企画実施と普及促進方策の検討」
(東京都立大学)

- ・「荒川区中小企業のリスクマネジメント普及プロセスとリカレント・ワークショップ：感染症 BCP シートの市場志向デザインと社会実装」(東洋大学)

- ・「避難経路計画のための被災市街地用アクセシビリティマップ生成システムの開発」(東京都立産業技術研究センター)

試験研究機関活用支援助成 4 件

- ・産学公金連携型マネジメントスクール参加企業数 4 社

(2 1) 区内での創業支援の強化

4,763 千円 3,273 千円 68.7%

【P225 8(3) 地域産業創出プロジェクト推進事業】

創業に向けたビジネスプランの作成、販路開拓、収支計画の立案等をテーマにした、実践的なセミナーを実施することで、意欲的な起業家を発掘した。

また、優れたビジネスプランについては、事業化に向けて専門家による指導、区内で創業した際の事務所等賃料補助など、より実効性のある支援を実施することにより、新事業を育成し、区内産業のさらなる発展を図った。

事業実績

アントレプレナーセミナー参加者数 3 8 名

起業アイデアレベルアップセミナー参加者数 3 3 名

事務所等賃料補助助成件数 1 件

(3 年度ビジネスプランコンテスト受賞者)

(2 2) 創業支援事務所等の賃料助成 8,863 千円 6,088 千円 68.7%

【P225 9(1) 起業家支援育成事業の一部】

区内で事務所等を借りて事業を開始する際に、事務所等賃料の補助を行い、区内での起業・創業を促進することで、区内産業の振興と雇用等の創出を図った。

事業実績 助成件数 20 件

(2 3) 日暮里地域活性化施設（ふらっとにっぽり）の運営

106,424 千円 87,999 千円 82.7%

【P225 9(2) ファッションクリエイター向け創業支援施設運営費】

【P225 9(4) 創業支援コワーキング事業】

【P227 22 日暮里地域活性化施設管理運営費】

ファッション関連での起業を目指す方に対し、創業機会の創出と経営力の強化を支援するインキュベーション施設「イデタチ東京」と、多彩な人材の交流による新ビジネスの創出を支援するコワーキングスペース「ツムギバ」の運営を通して、地域経済の活性化を促進した。

4 年度から、イデタチ東京を卒業して区内で拠点を構える事業者の区内定着を図るとともに卒業後の事業経営を支援するため、賃料の一部を補助する制度を新設した。

また、施設の特徴である大階段等を活用し、日暮里繊維街を始め、地域と連携したイベント等を開催し、地域における賑わい創出及び来街者のさらなる増加を促進した。

事業実績

ファッション関連セミナー 4 回実施 参加者数 延べ 373 人

ツムギバ利用者数 延べ 302 人

ツムギバ新規会員登録者数 249 人（累計 432 人）

4 年度来館者数 94,115 人（1 日平均 266 人）

(2 4) クラウドファンディング活用支援事業 1,500 千円 772 千円 51.5%

【P225 9(3) クラウドファンディング活用支援事業】

クラウドファンディングサービスを活用し、資金調達を行う事業者に対し、当該サービス利用等の手数料の一部を補助した。

事業実績 助成件数 7 件

(2 5) 商店街活性化の総合支援 82,828 千円 41,193 千円 49.7%

【P225 12 商店街活性化総合支援事業費】

商店街及び商店街連合会の販売促進やイベント開催、ハード整備・デジタル化等の商店街活性化事業を計画段階から実施に至るまで総合的に支援した。4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、イベント事業等を縮小又は中止をした商店街が多かったため、執行率の低下につながった。

事業実績	活性化事業	10 商店街、1 団体	13 件
	イベント事業	9 商店街	17 件
	特売奨励事業	1 団体	2 件
	産業活性化事業	2 団体	2 件

(2 6) 商店街ルネッサンスの推進 20,268 千円 13,069 千円 64.5%

【P225 13 商店街ルネッサンス推進事業費】

地域コミュニティの核となる商店街の活性化及び各店舗の集客力の向上を図るため、商店主等が講師となり、自店の特長・専門知識等を解説する「街なか商店塾」を実施したほか、あらかわ遊園のリニューアルオープンに合わせて、新たに「あらかわ遊園チケ得サービス」を実施した。

事業実績

街なか商店塾	参加店舗	33 店
あらかわ遊園チケ得サービス	協力店舗	97 店

(2 7) 日暮里繊維街の活性化支援 12,229 千円 11,055 千円 90.4%

【P227 15 日暮里繊維街活性化支援事業費】

「繊維の街・ファッションの街 日暮里」の定着を図り、集客力や賑わいの向上を図るため、日暮里繊維街等が開催するファッションデザインコンテストを支援した。

事業実績

4 年 1 1 月 3 日 ~ 8 日開催

コンテスト作品応募数 5 , 1 8 4 件

公開展示会来場者数 2 , 7 3 3 人



(2 8) 公衆浴場の振興 27,521 千円 21,445 千円 77.9%

【P227 17 公衆浴場振興事業費】

公衆浴場の設備近代化を図るための設備改善や、健康増進型公衆浴場改築等の経費の一部を助成することにより、公衆浴場の経営の安定化を支援した。

また、クリーンエネルギー化対策として、都市ガスを使用燃料とする浴場に対し、燃料費を助成した。4 年度は、急激な燃料費等の高騰を踏まえ、全浴場に対し、追加で燃料費等緊急補助を行った。

さらに、公衆浴場の需要喚起を図るため、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合荒川支部が実施するサービス事業(少年スポーツ大会応援、スタンプラリー、銭湯展、季節湯、ぷらっと湯、銭湯マップ作成等) の経費を助成した。

事業実績

公衆浴場需要喚起対策補助 少年スポーツ大会応援事業 6 大会

スタンプラリー 1 回

あらかわ銭湯展 1 回

季節湯 5 回

ぷらっと湯事業 1 7 浴場

銭湯マップ作成 9 , 0 0 0 部

設備改善補助 1 0 浴場が計 1 3 回利用

ガス燃料費補助 1 0 浴場が利用

燃料費等緊急補助 1 8 浴場が利用

(2 9) 就労・人材確保の支援

32,821 千円

30,419 千円

92.7%

【P227 19 雇用促進事業費】

あらかわ就労支援センターを拠点とした支援

若年者、女性、高齢者を対象とした就労支援セミナー・講座の開催をはじめ、足立公共職業安定所（ハローワーク足立）、日暮里わかものハローワーク、マザーズハローワーク日暮里などと緊密に連携し、JOBコーナー町屋の運営を行った。

事業実績

若者向け就労支援セミナー参加者数	1 4 0 人
女性向け就労支援セミナー参加者数	6 9 人
高齢者向け就労支援セミナー参加者数	1 0 3 人
J O B コーナー町屋利用者数	5 , 9 0 3 人

相談窓口支援

「わかもの就労サポートデスク」、「女性のおしごと相談デスク」、「シニアのおしごと相談デスク」において就職に対する不安の解消やアドバイス・関係機関についての情報提供、キャリアカウンセリングを行い、一人一人に寄り添った就労支援を行った。

事業実績

わかもの就労サポートデスク利用者数	1 , 3 6 6 人
合宿型就労訓練参加者数	6 人
女性のおしごと相談デスク利用者数	1 9 1 人
女性のキャリアアップ講座参加者数	1 8 人
シニアのおしごと相談デスク利用者数	1 3 1 人

区内企業の人材確保・定着支援

区内におけるモノづくり企業等の求人ニーズに対応するため、専門職員を配置し、専門ハローワーク等と連携し、募集から人材採用に至るまでの一貫したコンサルティングを行う人材確保支援事業を実施した。

また、区内企業の若手従業員の定着支援として、スキルアップや企業間交流のための若手従業員向け合同研修会を実施した。

事業実績

若手従業員向け合同研修会

和4年7月13日・11月2日・令和5年2月21日実施

参加9社 14人

(30) 魅力あふれる個店づくりの支援 1,694 千円 853 千円 50.4%

【P227 20 魅力あふれる個店づくり事業費】

意欲ある個店の魅力向上を図るとともに、個店間のネットワークづくりを推進するため、専属のコーディネーターが個別の経営課題に対するアドバイスやメールマガジンによる情報配信を行うほか、交流会を兼ねたセミナー等を開催し、商店主をサポートした。

また、個店間の連携から創出される新たなアイデアや取組を支援し、商店街及び区内商業活動の振興を図った。

事業実績	参加個店数	75店
	セミナー＆交流会実績	9回
	メールマガジン配信数	20回

(31) 商業・サービス事業者の活力創出の支援

34,466 千円 21,912 千円 63.6%

【P227 21 商業・サービス業活力創出支援事業費】

社会構造の変革や市場環境の変化に対応するための設備・備品・ITツールの導入等を行う区内商業・サービス事業者に対し、経費の一部を補助するほか、中小企業診断士による助言を併せて行うことで、地域産業の活力創出を支援した。

事業実績 商業・サービス業活力創出支援事業補助金 68件

(32) 商業・サービス事業者に対する訪問支援

14,738 千円 14,063 千円 95.4%

【P227 23 商業事業者訪問支援事業】

区内商業・サービス事業者の経営実態の把握やさらなる経営支援を図るため、中小企業診断士が戸別訪問し、経営課題やデジタル化等に関する調査や助言を行うとともに、内容に応じて、区や関係機関の支援事業に繋ぎ、課題解決を支援した。

事業実績

調査対象	区内商業事業者	2,101社
回答数	基本情報調査票	1,383社

（ 3 3 ）観光情報の提供 6,432 千円 5,134 千円 79.8%

【P229 1(1) 観光情報提供事業】

区のイメージアップと誘客の促進を図るため、区ホームページやツイッターを活用するとともに、多言語で作成している「都電荒川線沿線・日暮里・舎人ライナー沿線まちあるきマップ」の改定及び繁体字版の新規作成により、区の魅力を広く発信した。

また、観光アプリ「あらかわさんぽ」を使用したスタンプラリーを開催することで、アプリ利用者の増加を図るとともに、区内の回遊性を高め、地域経済の活性化を図った。

事業実績

観光情報 P R 協力所	7 6 か所
観光アプリダウンロード実績	9 7 9 件
（リリースから 5 年 3 月末までの累計	3 , 2 6 6 件）
「ことりっぴ日暮里」発行部数	2 8 , 2 0 0 部
（うち書店での配布分 1 0 , 0 0 0 部）	
「あらかわさんぽ」スタンプラリー参加者数	1 8 1 名
賞品応募者数	

（ 3 4 ）あらかわの伝統野菜の P R 564 千円 37 千円 6.6%

【P229 1(3) あらかわの伝統野菜 P R 事業】

区の伝統野菜である「三河島菜」の魅力発信による観光振興を図るため、都立農産高校生徒による野菜の販売や取組紹介、区役所地下食堂でのメニューの提供等を通じ、三河島菜の認知度のさらなる向上を図った。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止となり、PR バッグ作成を行わなかったことや日暮里道灌まつりにて三河島菜販売を行ったことにより、単独で販売用テント及びパネル設営委託を行わなかったため、執行率の低下につながった。

事業実績

三河島菜フェア 6 7 2 食



(3 5) 産業観光の推進

5,369 千円 2,754 千円 51.3%

【P229 2(1) 産業観光推進事業】

区の特徴の一つであるモノづくり産業を活かした観光振興を推進するため、工場や工房等において製造過程の見学・体験ができる「モノづくり見学・体験スポット」のPRイベント（あらかわモノスポ）及び伝統工芸技術職人や荒川マイスターの職人や商品をPRするイベント（荒川ブランドPR）を実施した。

また、「モノづくり見学・体験スポット」協力のもと、コロナ禍において自宅でもモノづくりの体験ができる「おうちでモノづくりキット」を販売した。

事業実績 あらかわモノスポ来場者数 約4,000名
 荒川ブランドPR来場者数 約4,000名
 おうちでモノづくりキット購入者 33名

(3 6) 都電荒川線の活用

318 千円 161 千円 50.6%

【P229 2(2) 都電荒川線活用事業】

区外から多くの観光客を呼び込むため、東京都交通局及び都電沿線3区と連携し、都電荒川線を活用した「都電荒川線クイズラリー」を実施し、区の魅力をPRした。

また、季節に応じた都電荒川線の魅力をPRするため、都電車内を装飾した特別PR電車を東京都交通局の協力のもと運行した。

事業実績

・都電荒川線クイズラリー

4年9月30日～11月11日

参加者数 1,724名

賞品応募者数

・都電ハロウィン号

4年10月1日～10月31日

・都電さくら号

5年3月18日～4月16日



(3 7) 観光客等の受入体制の充実 6,842 千円 4,831 千円 70.6%

【P229 2(3) 受入体制整備事業】

区のイメージアップを図るため、観光案内所等を活用し、日暮里繊維街をはじめとした区内観光スポットをPRするとともに、区の魅力を広く発信した。

また、新型コロナウイルス感染症の5類への移行後を見据え、宿泊施設や飲食店が外国語ホームページの開設や外国語表記のメニュー作成等を行う際の支援を行った。

さらに、観光ボランティアガイドの育成のための講座を引き続き実施した。

事業実績

荒川区ボランティアガイド養成講座

4年10月～12月(全8回実施)

受講者数 11名

(うち、ボランティアガイド登録者数9名)

(3 8) 太田道灌の魅力発信 6,339 千円 5,331 千円 84.1%

【P229 2(4) 太田道灌魅力発信事業】

区に所縁のある武将である「太田道灌」の魅力を発信するとともに、賑わいの創出による区内外からの誘客促進を図るため、関連自治体等による物販イベント等の「日暮里道灌まつり」を新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で開催した。

事業実績 日暮里道灌まつり 4年11月12日 日暮里駅前広場にて開催

(出店者数6自治体、1店舗)



(3 9) 観光イベントの支援 33,617 千円 198 千円 0.6%

【P229 3(2) 観光イベント支援事業費】

にぎわいと活力あるまちづくりのため、地域の方々が主体となっていく「川の手荒川まつり」をはじめとした、区民や地域団体が主催するイベントを支援した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から「第36回川の手荒川まつり」及び「第44回隅田川花火大会」が中止となったため、執行率の低下につながった。

事業実績 荒川区観光振興事業補助金 1件(あらかわ まちの駅下町すごろく)

(4 0) 俳句を生かした誘客の促進 9.321 千円 7,338 千円 78.7%

【P229 5 俳句活用事業費】

区内への誘客促進を図るため、千住まちあるきツアー、都電DE俳句、フォト俳句コンテストなどの俳句を活用した観光イベントを開催した。

事業実績

都電DE俳句

参加者数 15名

フォト俳句コンテスト

応募総数 850句



5 環境先進都市

(1) 環境学習・啓発の充実 6,791 千円 4,944 千円 72.8%

【P217 3 環境推進費の一部】

様々なテーマから環境について学ぶ夏休み親子エコ教室などの講座等を実施し、身近なところから環境問題を考える機会を提供した。

また、会員制の連続講座「あらかわエコジュニアクラブ」では、年間を通じて体系的に環境について学ぶ場を創出することに加え、参加者間の横のつながりを形成し、将来の環境の担い手を育成した。

事業実績

夏休みエコ教室	377人
あらかわエコジュニアクラブ	27人



(2) 環境活動の推進 7,918 千円 6,855 千円 86.6%

【P217 3 環境推進費の一部】

環境に関する啓発展示やVR体験を軸とした「あらかわエコキャラバン」をゆいの森あらかわで実施し、区民の環境意識の向上を図った。

また、区も一排出事業者として、さらなる区施設の省エネ化の促進やあらかわEMSの積極的展開などにより、率先して環境活動に取り組んだ。

事業実績

あらかわエコキャラバン参加者数	213名
あらかわEMS内部監査実施	16課12施設

(3) 地球温暖化対策事業の推進 4,999 千円 5,051 千円 101.0%

【P217 4 地球温暖化・ヒートアイランド対策推進費の一部】

令和3年度にゼロカーボンシティを表明したことを踏まえ、「荒川区地球温暖化対策推進条例」を制定するとともに、より高い削減目標を掲げた「荒川区地球温暖化対策実行計画」の改定や区民の具体的行動への指針となる「あらかわアクションプラン 2023」の策定など、地球温暖化対策を総合的に推進した。

また、交流都市である福島市と連携した「あらかわの森」植樹・交流事業を新たに実施し、森林整備を通じた二酸化炭素吸収対策を進めるとともに、区民への自然体験の機会の提供と環境意識の向上を図った。

事業実績

公共用地におけるサイクルポート設置数	36 か所
電力を一括調達した区有施設	83 施設
福島市連携植樹ツアー参加人数	20 組 40 名



(4) 省エネルギー化の推進 49,710 千円 48,313 千円 97.2%

【P217 4 地球温暖化・ヒートアイランド対策推進費の一部】

区民、管理組合、事業者等を対象に、太陽光発電システムや宅配ボックスの設置、節水トイレ・高断熱窓への改修、無料省エネ診断に基づく集合住宅共用部への省エネ設備（LED照明他）の導入等にかかる費用の一部を助成することにより、地球温暖化防止及びヒートアイランド対策の推進を図った。

また、省エネ型エアコン及び冷蔵庫の買い替えを促進する「省エネ家電助成事業」を実施し、家庭部門におけるさらなる省エネ化を推進した。

事業実績

太陽光発電・燃料電池・宅配ボックス・高断熱窓改修等の助成件数及び金額	
287 件	21,575 千円
集合住宅向け省エネ診断に基づき導入する省エネ設備の設置助成件数及び金額	
19 件	4,376 千円
省エネ家電助成事業助成件数及び金額	
エアコン 352 件	9,627 千円

冷蔵庫 393件 10,005千円

(5) まちの環境美化の推進

14,336千円 12,049千円 84.0%

【P217 6 まちの環境美化推進費】

「わがまちはわが手で美しく」を基本理念として区内の団体が実施するごみ拾いイベント等、区民の自主的な活動を支援し、地域の美化意識の向上と環境美化の推進を図った。

また、環境美化マナーアップキャンペーンや啓発指導員による巡回、指定喫煙場所の周知を行うとともに、路面シート等の掲示物を区内各所へ設置することで、「あらかわたばこマナー」の周知を徹底するなど、地域の喫煙マナー向上を図った。

事業実績

環境美化マナーアップキャンペーン参加者(計25回) 125人

路面シート 79枚(新規設置)

(6) 荒川もったいない大作戦

2,478千円 1,203千円 48.5%

【P219 7 普及啓発費の一部】

新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部のイベントを中止したことから執行率が低下したが、新たな視点で食品ロス削減啓発用絵本を活用するなど、食品ロス削減に関する啓発を行うとともに、10月の食品ロス削減月間にはインターネットを活用したイベントなども実施し、食品ロス削減へのさらなる周知を図った。

また、飲食店や小売店と協力して食品ロスの削減に取り組む「あら！もったいない協力店」の登録店舗と連携し、事業者と消費者の双方への意識改革を推進した。

事業実績 フードドライブ食品回収数 13,043個

(7) 不燃ごみ等の資源化の推進

113,088千円 90,729千円 80.2%

【P219 1 ごみ収集費の一部】

「荒川区一般廃棄物処理基本計画」において目標として掲げているリサイクルのさらなる推進を目指し、不燃ごみ及び金属系粗大ごみの資源化に取り組むことにより、ごみの処分量の減量を図った。

事業実績 不燃ごみの資源化量 1,096t

金属系粗大ごみの資源化量 213t

(8) 集団回収の支援 313,145 千円 296,015 千円 94.5%

【P219 1 リサイクル推進費】

集団回収を実施する団体に対する報奨金の支給、集団回収を実施する町会に対する回収支援金の支給、回収事業者に対する補助金の支給などの支援策を継続して行った。また、資源の持ち去り対策として、パトロール等を行った。

事業実績

集団回収量 9,331 t

リサイクル推進団体 305 団体



(9) 廃プラスチックのモデル回収の実施 15,891 千円 4,839 千円 30.5%

【P219 2 資源回収費の一部】

主に「プラスチック中間処理業務委託」において、当初想定していた単価より契約単価が下回ったことで執行率が低下したが、一部自治会等の協力を得て廃プラスチックのモデル回収を実施し、区民への周知方法や、排出時・回収時における課題の検証を行い、その改善を図り、廃プラスチックの円滑な資源化を推進した。

また、リサイクル事業者との意見交換を通じ、新たなリサイクル方法の検討を行うことで、さらなる資源化の推進に向け、検討を行った。

事業実績 プラスチック回収量 16,837 kg

(1 0) あらかわりサイクルセンターの運営・活用

99,606 千円 94,498 千円 94.9%

【P221 4 リサイクルセンター運営費の一部】

区内で回収した資源（びん・缶・ペットボトル・トレイ）の破碎、圧縮等の中間処理を安定的に実施した。また、施設見学やリサイクル工房、環境学習等の啓発事業については、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて感染防止対策を行うなど、規模を調整して実施した。

事業実績	中間処理量	びん	1,488,401 kg
		缶	400,534 kg
		ペットボトル	886,310 kg
		トレイ	39,014 kg

(1 1) 区民の緑化活動への参加促進

9,485 千円 4,710 千円 49.7%

【P237 1 みどりの条例関係費】

花や緑に対する区民の関心を高め、緑化活動への参加を促し、区内の緑化推進につなげていくための「あらかわ緑・花大賞表彰制度」や、緑化ボランティアのリーダーを養成する「あらかわ園芸名人養成講座」などの事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、尾久の原公園シダレザクラ祭りを中止したことにより、執行率が低下したが、シダレザクラ祭りについては、「オンラインお花見大会 2022」と称して、尾久の原公園のほか、区内の桜の開花状況などを動画配信することで、桜の名所の周知と PR につなげた。

(1 2) あらかわバラの市

9,980 千円 9,335 千円 93.5%

【P237 2(2) あらかわバラの市開催事業費】

「あらかわバラの市」を、コロナ禍においても楽しんでもいただけるよう、区内の生花商組合と連携するなどして新たな方式により開催し、花と緑の街づくりを推進した。

(1 3) 区民主体の街なか花壇づくり 12,584 千円 10,894 千円 86.6%

【P237 3 区民主体の街なか花壇づくり事業費】

花による潤いと安らぎの空間を創出するため、街なかに花壇を設置し、区民が主体となった花壇の維持管理活動を支援した。また、街なか花壇における活動の輪を広げるために P R を行い、花壇を 4 か所増の 9 7 か所とした。

事業実績 街なか花壇設置数 9 7 か所



(1 4) 新たな公園等の整備 3,301,839 千円 3,147,572 千円 95.3%

【P239 1 公園新設改良費の一部】

【P239 2 児童遊園新設改良費の一部】

宮前公園は、令和 4 年 4 月に、全面的に開園した隅田川から都電通りまでのエリアに続き、都電通り南側のエリアの整備に着手した。4 年度は、先行して園内通路の仮整備を行うとともに、この公園を新病院と連携した災害時の防災拠点として活用することを目指し、整備内容についての検討を進めた。

町屋公園及び南千住浄水場跡地については、スーパー堤防と一体的に整備を行えるよう、関係権利者との折衝や基礎調査を進めた。

6 文化創造都市

(1) 国内都市交流事業 5,790 千円 1,191 千円 20.6%

【P155 2 国内交流事業費】

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による各種交流事業中止のため、執行率が低下したが、大規模な一か所集客型のイベントに代わり、一定期間に複数の区内施設を利用した分散型のイベント開催やインターネットを活用したオンライン実施等、新しい実施方法によるイベントを開催することにより、交流都市の歴史や伝統、芸術文化、特産品の紹介等を行い、相互の都市の芸術文化・地域振興・交流の活性化を図った。

事業実績

荒川区交流都市フェア in 秋まつり (10 ~ 11 月)

・参加都市 (国内 13 都市、海外 3 都市) ... 広尾町、釜石市、福島市、つくば市、鴨川市、秩父市、佐渡市、射水市、村上市、潮来市、米沢市、大垣市、福井県、ウィーン市ドナウシュタット区、済州市、大連中山区

・交流都市特産品・PR グッズお楽しみ袋プレゼント参加者 510 人

荒川区交流都市フェア in 春まつり (2 ~ 3 月)

・参加都市 (国内 13 都市、海外 3 都市) ... 広尾町、釜石市、福島市、つくば市、鴨川市、秩父市、佐渡市、射水市、潮来市、米沢市、大垣市、福井県、ウィーン市ドナウシュタット区、済州市、大連中山区

・交流都市特産品・PR グッズお楽しみ袋プレゼント参加者 379 人

潮来市・田植え交流会

「今年の夏は！おうちで稲作」 参加組数 39 組

福島市・桃の引き渡し会

・販売数 697 箱

(2) あらかわ街なか美術館事業 1,740 千円 1,549 千円 89.0%

【P155 4 彫刻の街づくり事業費】

区立施設や公園など区内各地に設置している彫刻について、区内全域を「あらかわ街なか美術館」と見立て、作品への二次元バーコード設置や観光アプリの彫刻紹介ページの充実により、彫刻作品の魅力を広くPRするとともに、区民向けワークショップを開催するなど、芸術文化による魅力あるまちづくりを進めた。

事業実績

・「あらかわ街なか美術館ワークショップ「彫刻の魅力を知る」」

参加者数 30人

(3) 東京藝術大学との連携 3,210 千円 2,927 千円 91.2%

【P155 6 東京藝術大学との連携事業費】

東京藝術大学との連携事業として、立体部門の卒業・修了制作作品を対象とした荒川区長賞の授与や同作品の区内設置をはじめ、芸術家によるワークショップ、ゆいの森あらかわにおける親子コンサート等、区民が芸術文化に親しめる場のさらなる創出を図った。

事業実績

・荒川区長賞(4年度)

『紡ぎ 纏う』(荒川総合スポーツセンター1階) 累計31作品

・アートワークショップ

参加者数 102人

・「ゆいの森親子コンサート～夏休みの音楽隊～」

参加者数 116人

動画再生回数 175回

・「ピアノとヴァイオリンの

デュオコンサート2022」

参加者数 217人

(動画は後日公開予定)



(4) 俳句文化の振興

2,889 千円 2,109 千円 73.0%

【P155 7 俳句文化振興事業費】

「荒川区俳句のまち宣言」を踏まえ、俳句文化の裾野を広げるため、インターネットを活用する等、区民が気軽に参加できる投句事業や中高生向けの俳句事業、区内地域団体及び俳句団体と連携した事業を実施した。

また、俳句を始めるきっかけとなる初心者向け講座の開催や、「俳句のまち あらかわ」に関するPRグッズの作成・配布を行うなど、区の俳句文化を区内外に強く発信した。

事業実績

- ・「あらかわ俳壇」(4 年度)

投句数 3 , 7 5 6 句

- ・「中高生俳句バトル in あらかわ」

参加者数 1 6 6 人

- ・「現代俳句講座」

参加者数 5 4 人

- ・「AI 俳句を使用したつくらない句会」

参加者数 8 人

- ・「作って楽しむ俳句入門講座」

参加者数 1 7 人

- ・「子規・漱石句あわせ in 日暮里」

来場者数 1 0 5 人

- ・「俳句関連展示」

本庁舎 1 階：8 月 1 2 日～9 月 1 2 日

西日暮里ギャラリー：8 月 1 2 日～1 0 月 4 日



(5) 荒川コミュニティカレッジ

8,829 千円 4,530 千円 51.3%

【P171 14 荒川コミュニティカレッジ管理運営費】

荒川コミュニティカレッジでは、区と区民の協働のもと学びを生かし、地域活動をさらに広げる仕組みづくりに取り組んだ。

4 年度の講座運営についても、3 年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応や、ICT を活用した事業を推進するため、集合形式の学習方法に加えて、インターネットを活用した学習等を実施した。

また、受講生及び修了生が相互に交流を深め、新たなネットワークを築き、自らが講師となる区民相互の学びあいを推進するとともに、様々な分野で主体的に地域活動を展開できるよう

より強力に支援していくため、生涯学習センターとの統合の準備を進めることで、「学びによる生涯活躍のまちあらかわ」の実現を目指した。

事業実績

- ・必修コース あらかわ地域交流コース(受講生:24人) あらかわ健康・福祉コース(受講生:17人) 各コース全20回実施
- ・選択講座 17回実施(講座動画再配信講座、学びあい講座を含む)参加者数214人
あらかわ学や都立大学連携講座など
- ・公開講座 2回実施 参加者数 56人
アートワークショップ、子育て支援講座など
- ・学園祭 参加者数 およそ500人
- ・入学式・修了式
- ・地域活動団体登録数 29団体

(6) 特色ある地域図書館づくり 55,491 千円 55,297 千円 99.7%

【P173 2(2) 図書館資料費】

【P173 2(3) 読書活動推進事業費】

各地域図書館では、地域の特色を踏まえた独自の取組や資料収集を行ったほか、区民が身近な生涯学習の場として利用できるよう魅力ある書架を構成して情報提供を行い、地域に根差した図書館運営を行った。

「読書を愛するまち・あらかわ宣言」に基づき、子どもから高齢者まで、誰もが読書に親しみ学びながら、心豊かに暮らすことができる社会を目指し、生涯にわたる読書活動を推進した。

事業実績

- ・豊かな心を育む読書のまちづくり啓発用のぼり作成 200枚
- ・各種イベント開催 参加延べ人数 1,252人

(7) リニューアル後の町屋文化センターの運営

47,135 千円 48,350 千円 102.6%

【P173 1 町屋文化センター管理運営費】

生涯学習と芸術文化活動の拠点として、イメージの刷新と利用拡大を図るため、3年度に町屋文化センターのリニューアル改修工事を行った。リニューアル後は、何度でも気軽に来られる施設として、利用者の利便性向上のため、Wi-Fi 設備を導入した。また、誰でも気軽にピアノが弾ける「街なかピアノ」にラッピングを実施したほか、「なないろひろば事業」で0歳から対象となる事業を実施する等、運営面での充実を図った。

事業実績

- ・ラッピングピアノ参加型制作事業
参加者数 38人
- ・なないろひろば事業 11回実施
参加者数 延べ593人



(8) 江戸伝統技術の保存と継承

41,610 千円 30,464 千円 73.2%

【P175 2(2) 荒川ふるさと文化館事業推進費の一部】

【P175 3(3) 江戸伝統技術】

荒川区指定無形文化財保持者の伝統技術の映像の記録や作品購入により、その技術と保持者を広く紹介するとともに、「あらかわ学校職人教室」や「あらかわ職人道場」を実施し、伝統工芸技術に対する区民等の関心を高めた。

また、伝統工芸技術の習得を目指す方と、受け入れる伝統工芸技術保持者への支援を行い、継承者の育成を図った。

さらに、その魅力を区内外に広く発信するため、引き続き区ホームページにおいて、職人や作品の紹介、作品の購入先等を紹介していくほか、荒川区伝統工芸技術保存会との協働により「あらかわ伝統工芸ギャラリー」での作品展示や、実演・体験等を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で「あらかわの伝統技術展」を開催した。

事業実績

- ・第41回あらかわの伝統技術展 入場者数 7,000人(2日間)
- ・映像制作数 1本(累計58本)

- ・伝統工芸品購入品 鍛金一式（花器 打込象嵌 唐松のつた文、純銀製飾扇子）
- ・あらかわ学校職人教室 小学校23校、参加児童数1,589人
- ・あらかわ職人道場 教室数2教室、参加者14人

（９）ゆいの森あらかわの運営 368,149 千円 349,042 千円 94.8%

【P175 2 事務管理費】

【P175 3 事業運営費】

【P175 4 中央図書館運営費】

【P175 5 子どもひろば運営費】

【P175 6 吉村昭記念文学館運営費】

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底するとともに、ゆいの森あらかわの各機能を有機的に連携させた事業を通じて、区民の生涯学習や子育て支援、地域の文化とコミュニティの醸成を図った。

中央図書館

区民の課題解決支援など様々な図書館サービスを充実させるとともに、誰もが読書に親しめる環境づくりを進めた。

また、中央図書館として地域図書館との連携を一層強化して、区民の読書活動を推進するとともに、荒川区子ども読書活動推進計画（第四次）に基づき、子どもの読書活動を支え、さらに推し進めるため、家読（うちどく）の普及・啓発や障がいのある子どもたち等へのサービスの充実等、多彩な事業を実施した。

ゆいの森子どもひろば

「遊びラウンジ」を運営し、子育て世代のコミュニティの形成や子育ての不安を軽減する場を提供するとともに、ゆいの森あらかわ利用者のための乳幼児一時預かりを実施した。

また、「学びラウンジ」では、体験型のコンテンツの充実、ワークショップ等の開催を通して、子どもたちが夢や生きる力を育む場を提供した。

吉村昭記念文学館

展示やイベント、WEBやSNSを通して、吉村文学を区内外に発信した。

また、友の会向けに、限定イベントの開催等会員サービスの向上を図った。さらに、「おしどり文学館協定」に基づき、福井県ふるさと文学館との連携事業を実施した。

事業実績

・企画展来館者数

第1回 5,845人

第2回 4,909人

友の会会員数 520人

(1 0) パラスポーツの推進事業 5,446 千円 2,360 千円 43.3%

【P177 3(10) パラスポーツ推進事業】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に実施してきた取組をレガシーとして後世に引き継ぎ、障がいの有無や年齢などを問わず、全ての人々が楽しむことができるパラスポーツの普及を図った。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、パラスポーツフェスティバル等の一部の事業を中止又は規模を縮小したため執行率が低下した。

事業実績

- ・パラスポーツフェスティバル参加者数 560人
- ・4区合同初級障がい者スポーツ指導員講習会参加者数 24人

(1 1) 荒川遊園スポーツハウスのリニューアル

6,623 千円 6,373 千円 96.2%

【P177 3(3) スポーツハウス営繕費(大規模分)】

開設から30年経過した荒川遊園スポーツハウスのリニューアルに向けて、高齢者や障がい者をはじめ、子ども・子育て世代など、誰もが利用しやすく、魅力のあるスポーツ施設となるよう検討を進めた。

(1 2) 町会・自治会活動への支援 22,112 千円 7,420 千円 33.6%

【P155 5 町会・自治会活動支援助成費】

町会・自治会が地域活動事業を実施した場合の助成や、町会・自治会役員の担い手となる人材を育成するための支援を行うことで、さらなる地域力の醸成を図った。

新型コロナウイルス感染症の影響により、町会等のイベント、次世代育成研修ともに実施件数の減少が続いていることから、執行率が低下したが、一昨年及び昨年度と比較すると実施件数は増加した。

7 安全安心都市

(1) 区内全避難所での避難所開設・運営訓練

27,173 千円 7,384 千円 27.2%

【P151 3 防災訓練費】

一次避難所において、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じ、参加者を制限するなどの工夫をしたうえで、備蓄倉庫の確認、避難所における感染症対策などを中心とした縮小型の避難所の開設・運営訓練を実施した。

4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響で、一部の避難所において、開設・運営訓練が実施できなかったことにより、資材運搬費や防災訓練会場設営委託費等の支出が減少し、執行率の低下につながった。

また、一次避難所における防災区民組織の自主運営能力の向上を図るため、町会向けの避難所エキスパート養成講座を開講し、共助体制の強化を図った。

事業実績

- ・避難所の開設・運営訓練の実施 区内15か所
- ・避難所エキスパート養成講座の開講 2回（対象：全120町会等）

(2) 震災時の屋内安全対策にかかわる器具の普及促進

25,420 千円 12,199 千円 48.0%

【P151 4 防災普及啓発費】

地震発生後の電気火災を防ぐために有効な「感震ブレーカー」及び「家具類の転倒・落下・移動防止器具」の設置・購入費用の助成を行った。

また、発災時に避難行動をとることが難しい高齢者のみの世帯や障がい者のいる世帯、住民税非課税世帯を対象とした「簡易型感震ブレーカー」及び「自動点灯ライト」の無料配付事業を継続して実施した。

本事業については、事業開始当初と比べ、4年度は申請件数が増加したが、当初の想定件数を下回り、執行率の低下につながった。

事業実績

- ・感震ブレーカー無料配布 59件
（分電盤型感震ブレーカー助成 265件）

(3) 治安対策事業の推進 172,464 千円 162,394 千円 94.2%

【P151 13 荒川区安全・安心ステーション】

【P151 14 自転車盗難対策費】

【P151 15 防犯カメラを活用した防犯環境の整備】

【P151 18 治安向上対策事業費】

街頭防犯カメラを設置する町会等に対して、整備費等の一部補助など積極的な支援を行ったほか、安全・安心パトロールカーによる巡回や防犯に関する広報活動、郵便局や信用金庫等の区内事業者による「ながら見守り活動」、自宅への防犯カメラや録画機能付きドアホン等の設置補助制度を活用した自主的な防犯対策の促進により、地域の防犯力向上を図った。

また、自転車の盗難多発地区における安全・安心パトロールカーや盗難防止指導員によるパトロール、町会や警察署等と連携した盗難防止の啓発活動や、注意看板等の設置・更新により、防犯意識の向上を図った。

事業実績 防犯カメラ設置・更新台数 町会・商店会 56 台 区 22 台

(4) 新たな永久水利施設の整備と消火・送水ネットワーク体制の拡充

55,693 千円 47,413 千円 85.1%

【P151 16 永久水利事業費】

【P243 12 永久水利整備事業費】

宮前公園(第三期整備区域)への永久水利施設の整備に向けて、宮前公園の整備と合わせて検討を開始した。4年度に予定していた永久水利さく井工事設計委託については、宮前公園用地の拡張に伴い公園計画に変更が生じたため、5年度実施に変更した。また、第四峡田小学校に深井戸方式の新たな永久水利を整備した。

さらに、既設の永久水利施設を拠点とした、複数の防災区民組織(町会)や中学校防災部、消防団との連携による消火・送水ネットワーク体制の拡充を図った。

事業実績 第四峡田小学校永久水利施設の完成

(5) 特殊詐欺対策 17,744 千円 13,460 千円 75.9%

【P151 17 特殊詐欺対策事業費】

特殊詐欺の被害を防ぐために、警察署や区役所に寄せられる不審電話情報の共有化と集中パトロール、ＡＴＭ警戒、電話自動通話録音機の設置促進等の取組を展開するとともに、詐欺電話が集中している地域にリアルタイムで防災行政無線による放送、ＡＴＭコーナーに啓発のトリックアート表示、コンビニにおける電子マネー購入者向けの啓発用封筒配布など注意喚起を実施した。

また、高齢者が集まる場所でのミニ講座や高齢者世帯への各戸訪問を実施したほか、安全・

安心かわら版やコミュニティバスへのラッピング広告等様々な広報媒体を活用して、特殊詐欺の手口や対策について啓発した。

事業実績

自動通話録音機貸与数 1,000台

各戸訪問等実施件数 230件

(6) 交通安全対策の推進 21,915 千円 18,396 千円 83.9%

【P151 19 交通安全対策費の一部】

【P233 5 交通安全施設整備費の一部】

交通事故の半数以上を占める自転車事故を防ぐために、小学生向けの自転車安全利用講習会に加え、新たに子育て世代や高齢者世代を対象とした電動アシスト自転車の講習会を開催するなど、幅広い世代に向けた交通安全の啓発を警察署と連携して実施した。

また、TSマークの取得や高齢者の運転免許証返納の支援を継続するとともに、ながらスマホの防止に関する条例のさらなる周知・啓発を区内事業者等と連携して実施した。

さらに、地域住民や警察署の意見を踏まえ、自転車事故の危険性が高い道路や交差点を選定し、路面標示や電柱幕、看板の設置等の安全対策を重点的に実施した。

事業実績

自転車安全利用講習会

31回実施

参加人数

1,495人

自転車保険(TSマーク)加入促進事業

申請件数 435件

高齢者運転免許証自主返納支援事業

申請件数 278件



(7) 不燃化特区の整備促進 1,049,448 千円 744,273 千円 70.9%

【P153 22 防災設備整備・改修費の一部】

【P243 13 不燃化特区整備促進事業費】

大規模地震発生時における市街地火災から区民の生命及び財産を守るため、老朽木造建築物の建替えや除却の促進による地域の不燃化を進めるとともに、初期消火や救助活動のための災害用資器材を配備した防災スポットの整備、主要生活道路の拡幅等を重点的かつ集中的に取り組み、燃えない・燃え広がらない災害に強い街づくりを推進した。

事業実績

不燃領域率

(荒川・南千住地区) 65.8%

(町屋・尾久地区) 64.5%

不燃化建て替え助成 45件

老朽建物除却助成 83件

防災スポット(用地取得1件・整備3件)

主要生活道路(用地取得11件・整備7件)



(8) 学校・学童クラブ・にこにこすくー安全パトロール

114,881 千円 112,067 千円 97.6%

【P201 8 放課後子ども総合プラン等事業費の一部】

【P201 10 学童クラブ安全対策事業費の一部】

【P251 7 学校安全対策費の一部】

下校時の低学年児童等の安全を確保するため、全ての小学校、学童クラブ及びにこにこすくーにおいて、帰宅時間に合わせて、安全パトロールを実施した。

事業実績 安全パトロール実施校数 24校

(9) 災害時医療体制の整備 19,095 千円 12,853 千円 67.3%

【P207 8 災害時医療体制整備事業費】

震災等の発災時に、迅速かつ的確に負傷者等へ医療を提供する緊急医療救護所を開設するため、災害医療・災害薬事コーディネーターの配置や医療用資機材の整備、医師会等の関係団体と連携した医療救護訓練等を行った。

事業実績

荒木記念東京リバーサイド病院にて医療救護連携訓練を実施 1 1 月 1 2 日

(1 0) 地籍調査の拡充 21,241 千円 15,534 千円 73.1%

【P231 5(2) 地籍調査事務費】

土地の最も基礎的な情報である地籍(土地所有者、地番、地目、境界、面積)を明らかにし、災害復旧の迅速化、土地取引の円滑化、土地資産の保全、公共事業の効率化等を図るため、地籍調査を実施した。

事業実績 全体の進捗率 3 . 7 1 %

・尾久地区(西尾久二丁目の一部) 3 h a

・町屋地区(町屋二丁目の一部) 6 h a

(1 1) 細街路拡幅整備の推進 500,375 千円 459,433 千円 91.8%

【P235 1 細街路拡幅整備事業費】

防災性の向上や居住環境の改善を図るため、建築物の新築・建替え等の際に、建築主等の協力を得て細街路を拡幅整備した。

また、事業の推進を図るため、建築主等に対し、拡幅する用地の整備に要する費用の一部を助成した。

事業実績 整備延長 2 , 1 5 5 m

整備面積 1 , 2 5 1 m²

後退用地整備率(4年度末) 4 8 %

(1 2) 都市防災不燃化の促進 15,330 千円 30 千円 0.2%

【P241 3 都市防災不燃化促進事業費】

大規模地震発生時に火災の延焼拡大防止と避難路の安全性を確保するため、補助 9 0 号線第三地区（町屋駅前から明治通り（荒川一丁目）まで）において、耐火建築物の建築主に対して建築費の一部を助成する事業であるが、ホームページや区報等により本事業の P R に努めたものの、要件を満たす助成金申請がなされなかったため、執行率の低下につながった。

事業実績 補助 9 0 号線第三地区 0 件

(1 3) 木造・非木造建物耐震化の推進 134,943 千円 76,817 千円 56.9%

【P241 9(1) 木造建物耐震化推進事業費】

【P241 9(2) 非木造建物耐震化推進事業費】

大規模地震による倒壊等のおそれがある旧耐震基準の木造及び非木造建物の所有者に対して、耐震診断、耐震補強工事及び耐震建替え工事、除却等に要する費用の一部を助成することで、建物の耐震性等の向上を図った。

事業実績

耐震診断	木造	2 9 件	非木造	1 件
耐震補強設計	木造	3 件	非木造	0 件
耐震補強工事	木造	1 件	非木造	0 件
建替え工事	木造	5 件	非木造	2 件
除却工事	木造	1 6 件		
防火耐震補強工事		1 件		

(1 4) 特定緊急輸送道路沿道建物耐震化の推進

36,226 千円 36,923 千円 101.9%

【P241 9(3) 特定緊急輸送道路沿道建物耐震化推進事業費】

特定緊急輸送道路となっている日光街道、尾久橋通り、明治通りの一部について、その沿道建物の耐震化に要する費用の一部を助成することで、建物倒壊による道路の閉塞を防ぎ、広域的な避難路及び輸送道路を確保した。

事業実績 耐震補強設計 1 件 耐震補強工事 2 件

(1 5) 空き家対策のさらなる推進 49,345 千円 44,519 千円 90.2%

【P241 10 空き家対策事業費】

「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、危険度の高い老朽空き家については、特定空き家等への指定を視野に入れ、所有者等の指導を徹底し、除却を進めた。

また、利用可能な空き家について、利用希望者と所有者をマッチングさせるための取組を行った。

さらに、戦略的に空き家の所有者に指導等を実施できるよう空き家の実態調査を実施した。

事業実績	荒川区特定空家等対策審査会	2 回開催
	空き家相談会	6 回開催
	老朽空家住宅除却助成	1 6 件
	危険老朽空家住宅除却助成	3 件
	マッチング実績件数	1 件
	空家利活用改修補助	1 件

(1 6) 学校情報配信システム 1,663 千円 1,661 千円 99.9%

【P251 7 学校安全対策費の一部】

【P255 12 学校安全対策費】

【P261 7 その他運営費の一部】

子どもの安全に関わる情報をいち早く保護者に知らせるため、携帯メール等への配信を行「学校情報配信システム」について、全区立小中学校、幼稚園及びこども園で実施した。

事業実績

【登録者数・登録率】合計 12,642 人 (98.0%) 4 年 1 2 月末現在

(1 7) 児童安全推進員の配置 51,758 千円 49,203 千円 95.1%

【P251 7 学校安全対策費の一部】

【P261 12 安全対策費】

【P261 9 安全対策費】

児童の安全を確保するため、全区立小学校、こども園及び預かり教育を実施する幼稚園に児童安全推進員を配置し、来校者への対応等を行い、不審者の発見に努めるなど安全体制を整備した。

事業実績 【配置校・園数】小学校 2 4 校

こども園 1 園

幼稚園 1 園（預かり教育実施園）

(1 8) 市街地再開発事業の推進 841,600 千円 416,952 千円 49.5%

【P241 4 市街地再開発事業費】

市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用、住環境の整備、都市機能の更新及び駅前地区の活性化を目指し、三河島駅前北地区及び西日暮里駅前地区において、市街地再開発事業を推進した。

また、三河島駅前北地区は再開発組合、西日暮里駅前地区は準備組合に対し、事業計画作成（基本設計、建物調査等）に係る費用の一部を助成した。

三河島駅前北地区では、再開発組合設立に向けた手続等を進めたが、関係機関との協議に時間を要し、当初予定していた認可日より約 6 か月遅れ、5 年 2 月の認可となった。

このため、再開発組合設立後に予定していた事業に対する補助金の支出については、5 年度に実施することになり、4 年度は未執行となった。

事業実績 三河島駅前北地区 再開発組合設立

西日暮里駅前地区 事業計画作成

8 計画推進のために

(1) 公金収納のキャッシュレス化の推進 1,807 千円 803 千円 44.4%

【P143 1 出納事務費の一部】

区民サービスの向上を図るため、新たに 18 か所の窓口における手数料等の支払にキャッシュレス決済を導入した。

導入に当たっては、区報やホームページに加え、区役所窓口へのポスター掲示等により区民に周知したが、利用率が当初の見込みを下回ったことに加え、新たな窓口におけるキャッシュレス決済の LAN 回線工事契約が実績減になったこと、また、円滑な窓口業務を確保するため、キャッシュレス決済業務を担当する職員への研修等を十分に行ったことで、当初 9 か月の運営経費を見込んでいた期間が 6 か月となったことにより、執行率の低下につながった。

(2) 窓口業務の改善 12,307 千円 10,753 千円 87.4%

【P147 2 広報活動費】

【P149 1 賦課徴収事務費】

【P163 2 一般事務費】

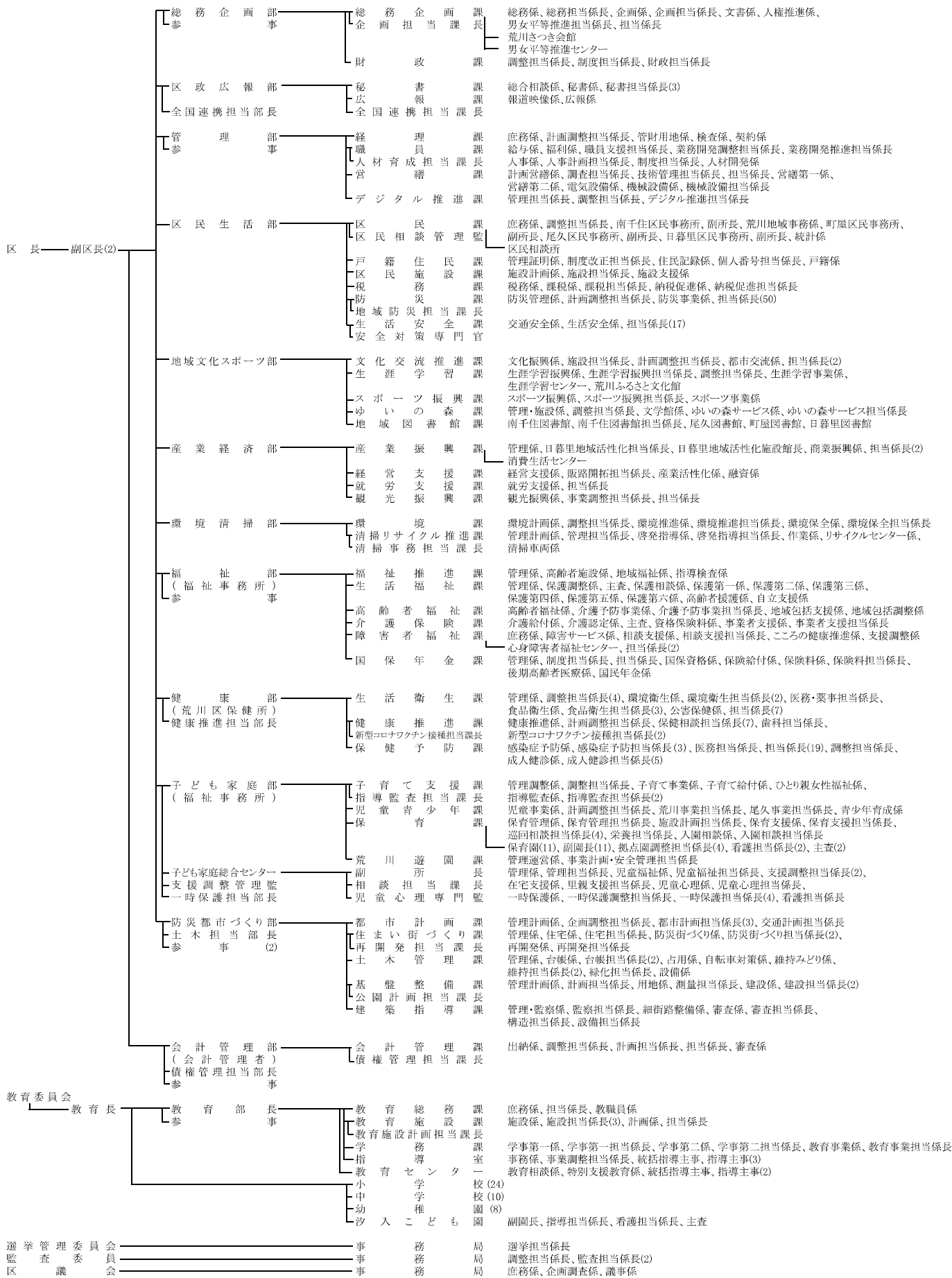
【P163 1 住民基本台帳事務費】

【P299 2 一般事務費】

来庁者の申請手続きにかかる負担の軽減や庁内滞在時間の縮減による、区民サービス向上のため 各種手続きのデジタル化や、サポートが必要な方への手続きの案内及び相談支援、オンライン申請システムなどの活用を行うことにより、窓口サービスの改善を推進した。

荒川区行政組織図

令和5年4月1日現在



福祉・保健施設等位置図

▲ 社会福祉施設

No	名称	施設名称	名称
1	荒川老人福祉センター	特別養護老人ホームさくら館	称
2	特別養護老人ホームグリーンハイツ荒川	コミュニティガーデンさくら	
3	高齢者通所サービスセンター	特別養護老人ホーム癒しの里南千住	
4	特別養護老人ホームサンハイツ荒川	特別養護老人ホームおたけの郷	
5	荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター	荒川生活実習所	
6	町屋在宅高齢者通所サービスセンター	荒川福祉作業所	
7	東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター	心身障害者福祉センター(荒川たんぼセンター)	
8	授産場(いきいきワーク荒川)	障害者基幹相談支援センター	
9	特別養護老人ホーム信愛のぞみの郷	障害者福祉会館(アクロスあらかわ)	
10	西尾久東部在宅高齢者通所サービスセンター	町屋三丁目障がい者就労支援施設(スタートまちや)	
11	特別養護老人ホーム花の木ハイツ荒川	障がい者地域生活支援施設(スクラムあらかわ)	
12	花の木ハイツ荒川在宅高齢者通所サービスセンター	精神障害者地域生活支援センター(支援センターアゼリア)	
13	南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター	尾久生活実習所分場(あらかわ希望の家分場)	
		尾久生活実習所(あらかわ希望の家)	
		グループホームひぐらし	
		東日暮里三丁目障がい者支援施設	
		西日暮里六丁目障がい者支援施設	

地域包括支援センター

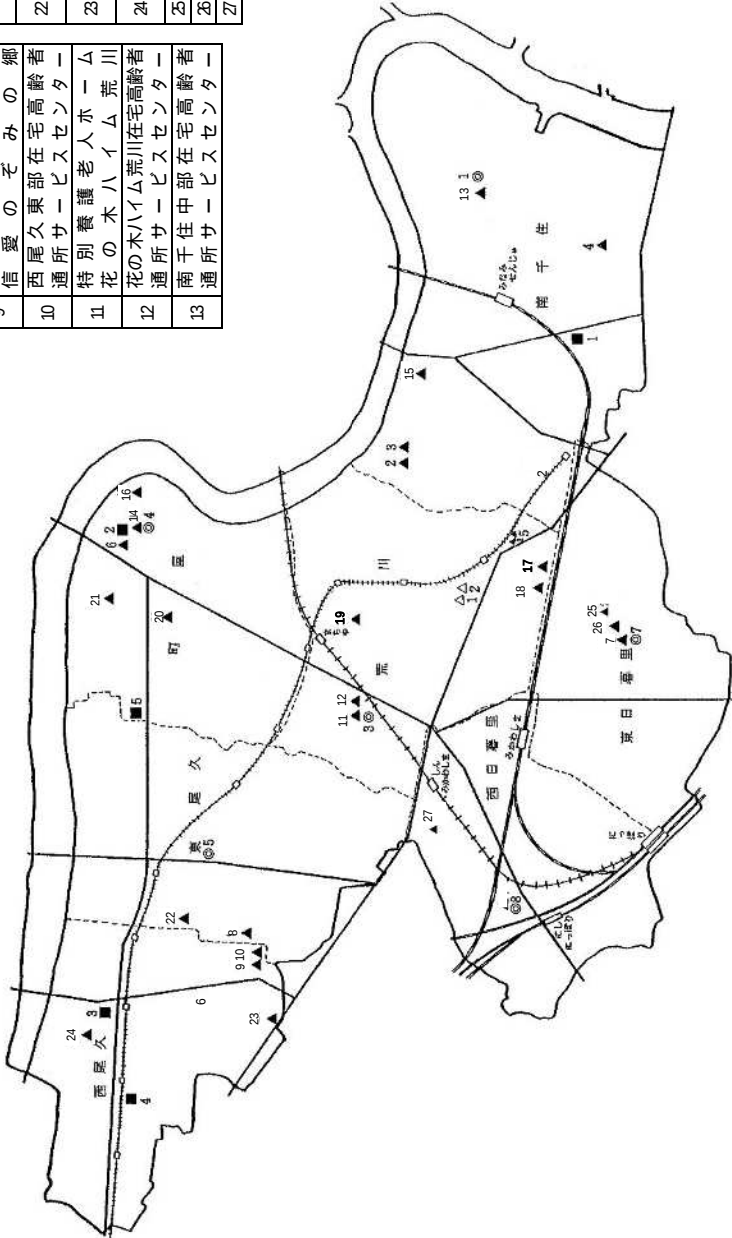
No	名称
1	南千住東部地域包括支援センター
2	南千住西部地域包括支援センター
3	荒川地域包括支援センター
4	町屋地域包括支援センター
5	東尾久地域包括支援センター
6	西尾久地域包括支援センター
7	東日暮里地域包括支援センター
8	西日暮里地域包括支援センター

保健施設

No	名称
1	保健所
2	保健所(がん予防・健康づくりセンター)

■ 住宅

No	名称
1	南千住二丁目住宅(さくらハイツ南千住)
2	町屋七丁目住宅(さくらハイツ町屋)
3	西尾久三丁目住宅(さくらハイツ小台)
4	西尾久七丁目住宅(さくらハイツ西尾久)
5	町屋五丁目住宅

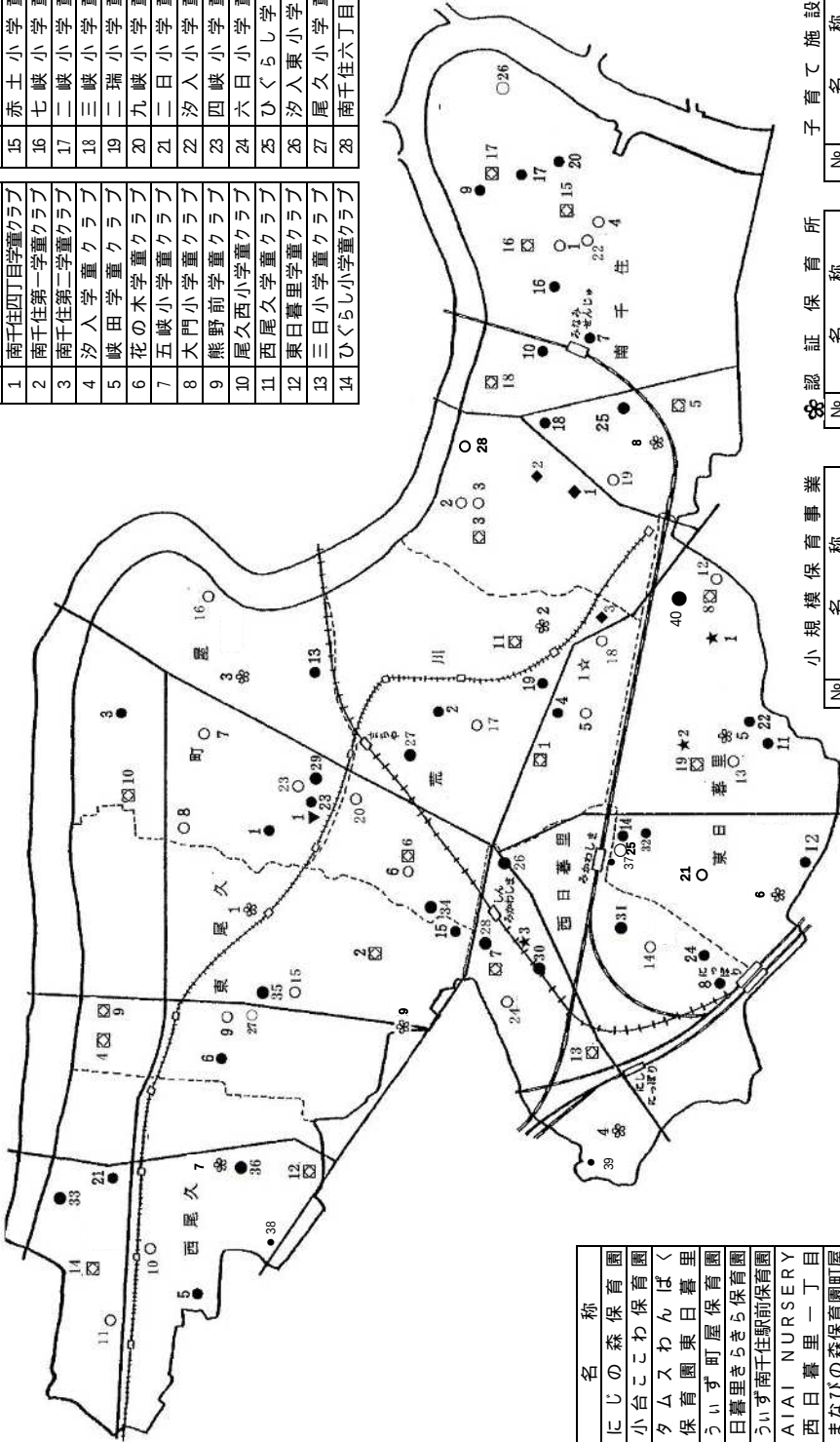


子育て施設等位置図

区立保育園	No	名称
1	三河島	保育園
2	東尾久	保育園
3	南千住	保育園
4	西尾久	保育園
5	第二南千住	保育園
6	荒川	保育園
7	西日暮里	保育園
8	第二東日暮里	保育園
9	熊野前	保育園
10	原保	育園
11	荒川さつき	保育園
12	西尾久みどり	保育園
13	ひぐらし	保育園
14	上尾久	保育園
15	汐入とちのき	保育園
16	南千住さくら	保育園
17	はなみずき	保育園
18	南千住七丁目	保育園
19	タヤけこやけ	保育園

。学童クラブ	No	名 称
1	南千住四丁目学童クラブ	
2	南千住第一学童クラブ	
3	南千住第二学童クラブ	
4	汐入学童クラブ	
5	峡田学童クラブ	
6	花の木学童クラブ	
7	五峡小学童クラブ	
8	大門小学童クラブ	
9	熊野前学童クラブ	
10	尾久西小学童クラブ	
11	西尾久学童クラブ	
12	東日暮里学童クラブ	
13	三日小学童クラブ	
14	ひぐらし小学童クラブ	

No	名称
15	赤土小学童クラブ
16	七峡小学童クラブ
17	二峡小学童クラブ
18	三峡小学童クラブ
19	二瑞小学童クラブ
20	九峡小学童クラブ
21	二日小学童クラブ
22	汐入小学童クラブ
23	四峡小学童クラブ
24	六日小学童クラブ
25	ひぐらし学童クラブ
26	汐入東小学童クラブ
27	尾久小学童クラブ
28	南千住六丁目学童クラブ



私立保育園	No	名称
1	上智厚生館	保育園
2	仁風	保育園
3	尾久隣保館	保育園
4	ドン・ボスコ	保育園
5	子供の家愛育	保育園
6	至誠会第二	保育園
7	南千住駅前	保育園
8	グロ－バルキッズ	保育園
9	にじの樹	保育園
10	ぼけっとランド	保育園
11	南千住瑞光	保育園
12	グロ－バルキッズ	保育園
13	町屋	保育園
14	ポラ－東	保育園
15	AIAI NURSERY	新三河島
16	コンピラザ	南千住保育園
17	ピノキオ	幼児舎南千住園
18	太陽の子	わかば保育園
19	キッズあおぞら	保育園

No	名称
20	にじの森保育園
21	小台ここわ保育園
22	タムスわんぱく保育園東日暮里
23	ういず町屋保育園
24	日暮里きらきら保育園
25	ういず南千住駅前保育園
26	AIAI NURSERY 西日暮里一丁目
27	まなびの森保育園町屋
28	上智聖ローザ保育園
29	グローバルキッズ町屋保育園
30	まなびの森保育園西日暮里
31	日暮里保育園
32	まなびの森保育園三河島
33	小台橋保育園
34	タムスわんぱく保育園荒川
35	ピノキオ幼児舎 東尾久保育園
36	大空と大地のな～りい 荒川西尾久園
37	聖華ひなた保育園
38	オランジェナ～サリ～
39	まぐらさくみらい西日暮里
40	ななかよし保育園

小規模保育事業	No	名称
1	かかんもり	保育園
2	フレンス	保育園
3	ハローフレンド	保育園

家庭的保育事業	No	名称
1	細田	保育園
2	家庭的保育室	ノードロップ
3	おはな	保育室

認証保育園	No	名称
1	みるく	保育園
2	かがや	保育園
3	カナリヤ	保育園
4	キッズステーション	のびのび保育園
5	キッズガーデン	保育園
6	花さと	保育園
7	あつる	保育園
8	ぼけっとランド	南千住 M I R A T Z
9	東尾久	保育園

子育て施設等	No	名称
1	子ども家庭	総合センター

▼認定こども園	No	名称
1	ワタナベ	学園

教育・文化施設位置図

■ 区立幼稚園

No	名称	認定こども園
1	南千住第二幼稚園	○ 図 書 館
2	南千住第三幼稚園	No 1 南千住図書館
3	町屋幼稚園	No 2 尾久図書館
4	花の木幼稚園	No 3 町屋図書館
5	尾久幼稚園	No 4 日暮里図書館
6	尾久第二幼稚園	No 5 汐入図書館
7	日暮里幼稚園	No 6 冠新緑サードステーション
8	東日暮里幼稚園	

▼ 区立こども園

No	名称
1	汐入こども園

✿ 私立幼稚園

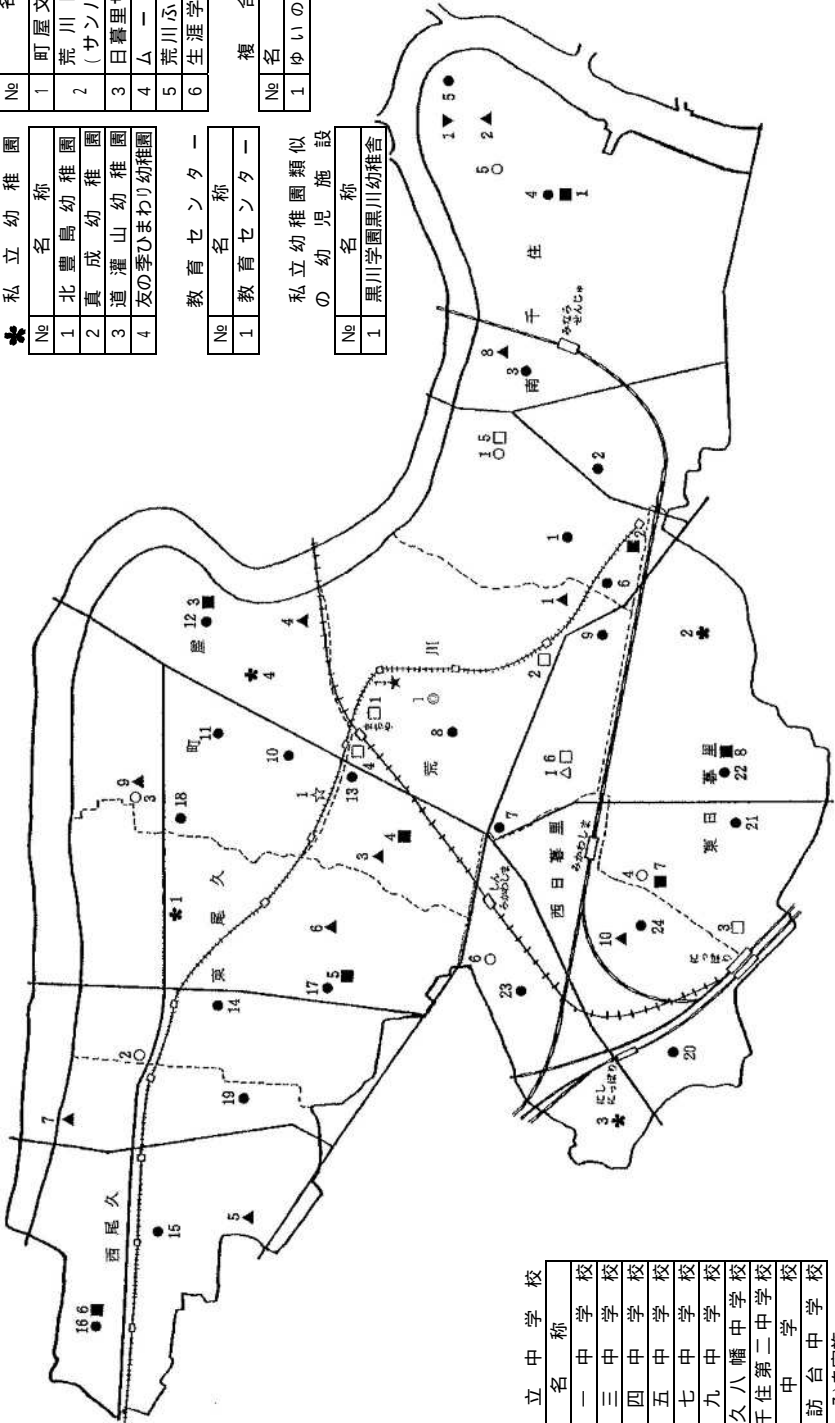
No	名称
1	北豊島幼稚園
2	真成幼稚園
3	通灌山幼稚園
4	友の季ひまわり幼稚園

教育センター

No	名称
1	教育センター

私立幼稚園類
の幼児施設

No	名称
1	黒川学園黒川幼稚園



▲ 区立中学校

No	名称
1	第一中学校
2	第三中学校
3	第四中学校
4	第五中学校
5	第七中学校
6	第九中学校
7	尾久八幡中学校
8	南千住第二中学校
9	原中学校
10	諏訪台中学校

● 区立小学校

No	名称
1	瑞光小学校
2	第三瑞光小学校
3	第三瑞光小学校
4	汐入小学校
5	汐入東小学校
6	第六瑞光小学校
7	峡田小学校
8	第二峡田小学校
9	第三峡田小学校
10	第四峡田小学校
11	第五峡田小学校
12	第七峡田小学校
13	第九峡田小学校
14	尾久小学校
15	尾久西小学校
16	尾久第六小学校
17	赤土小学校
18	大門小学校
19	尾久宮前小学校
20	第一日暮里小学校
21	第二日暮里小学校
22	第三日暮里小学校
23	第六日暮里小学校
24	ひぐらし小学校

全校で放課後子ども教室(にこすくーる)を実施

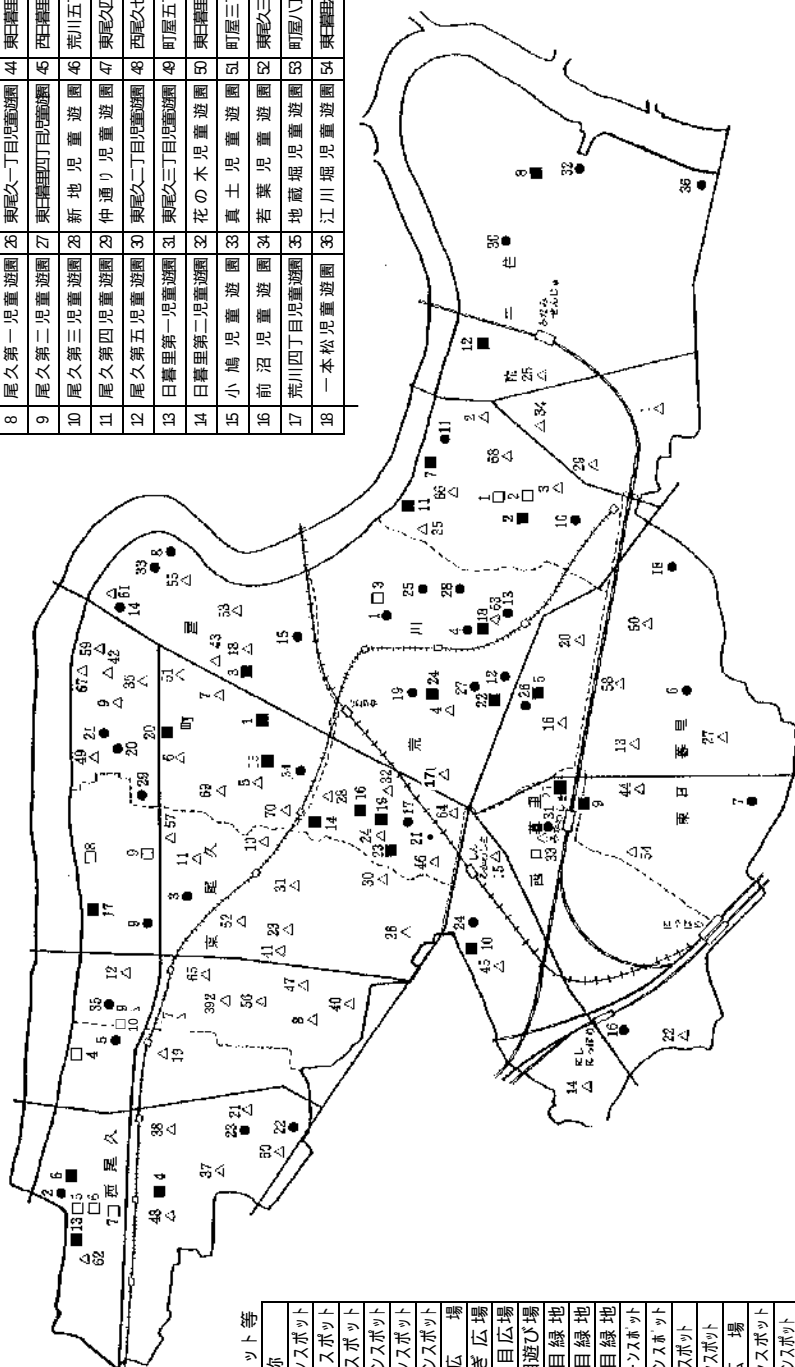
公園・児童遊園等及び運動施設位置図

兒童遊園

No	名 称	No	名 称	No	名 称	No	名 称
1	南千住第一児童遊園	19	八 幡 児 童 遊 園	37	西尾久四丁目児童遊園	55	町屋七丁目児童遊園
2	南千住第二児童遊園	20	峡 田 児 童 遊 園	38	西尾久五丁目児童遊園	56	東尾久五丁目南見児童遊園
3	南千住第四児童遊園	21	西尾久一丁目児童遊園	39	熊野前南見児童遊園	57	東尾久六丁目児童遊園
4	三河島第二児童遊園	22	花見寺前児童遊園	40	東尾久上児童遊園	58	東日暮里三丁目児童遊園
5	町屋第二児童遊園	23	本町通児童遊園	41	東尾久三丁目児童遊園	59	町屋六丁目東見児童遊園
6	町屋第三児童遊園	24	荒川六丁目児童遊園	42	町屋六丁目児童遊園	60	西尾久四丁目南見児童遊園
7	町屋第四児童遊園	25	三 瑞 児 童 遊 園	43	町屋八丁目児童遊園	61	町屋七丁目北見児童遊園
8	尾久第一児童遊園	26	東尾久一丁目児童遊園	44	東日暮里大目児童遊園	62	西尾久八丁目児童遊園
9	尾久第二児童遊園	27	東日暮里丁目児童遊園	45	西日暮里六丁目児童遊園	63	荒川一丁目児童遊園
10	尾久第三児童遊園	28	新 地 児 童 遊 園	46	荒川五丁目児童遊園	64	荒川五丁目東見児童遊園
11	尾久第四児童遊園	29	仲 通 り 児 童 遊 園	47	東尾久四丁目児童遊園	65	東尾久五丁目児童遊園
12	尾久第五児童遊園	30	東尾久二丁目児童遊園	48	西尾久七丁目児童遊園	66	若 宮 八 幡 児 童 遊 園
13	日暮里第一児童遊園	31	東尾久三丁目児童遊園	49	町屋五丁目児童遊園	67	町屋六丁目北見児童遊園
14	日暮里第二児童遊園	32	花 の 木 児 童 遊 園	50	東日暮里二丁目児童遊園	68	南千住六丁目児童遊園
15	小 鳥 児 童 遊 園	33	真 土 児 童 遊 園	51	町屋三丁目児童遊園	69	町屋四丁目児童遊園
16	前 沼 児 童 遊 園	34	若 葉 児 童 遊 園	52	東尾久三丁目北見児童遊園	70	町屋二丁目児童遊園
17	荒川四丁目児童遊園	35	地 蔵 堀 児 童 遊 園	53	町屋八丁目南見児童遊園		
18	一本松児童遊園	36	江 川 堀 児 童 遊 園	54	東日暮里丁目児童遊園		

No	名 称	内 容
5	荒川遊園子どもプール	屋 外 プ ー ル
6	荒川遊園スポーツハウス	プ ー ル、ア リ ー ナ 等
7	荒川遊園運動場	多 目 的 の 広 場
8	東尾久運動場	庭 球 場、小 広 場
9	東尾久運動場	多 目 的 の 広 場
10	宮前公園	庭 球 場

№	名 称	内 容
1	南千住野球場	野 球 場
2	荒川総合スポーツセンター	プール、体育館、卓球場、キッズルーム等
3	荒川自然公園	野球場、庭球場、徒渉池、ジョギングコース
4	区民運動場	多目的グラウンド、テニス、バスケットボール兼用コート

☐ スポーツ施設設

№	名	球 場	内 容
1	南 千 住	野 球 場	野 球 場
2	荊 籠 合 ス ポ ー ツ セ ン タ ー		プ ー ル、体 育 館、卓 球 場、キ ッ ス ル ー ム 等
3	荒 川 自 然 公 園		野 球 場、庭 球 場、徒 渉 池、シ ョ ー グ ン ク ー ス
4	区 民 運 動 場		多 目的 グラウンド、テニスコート、バスケットボール兼用コート

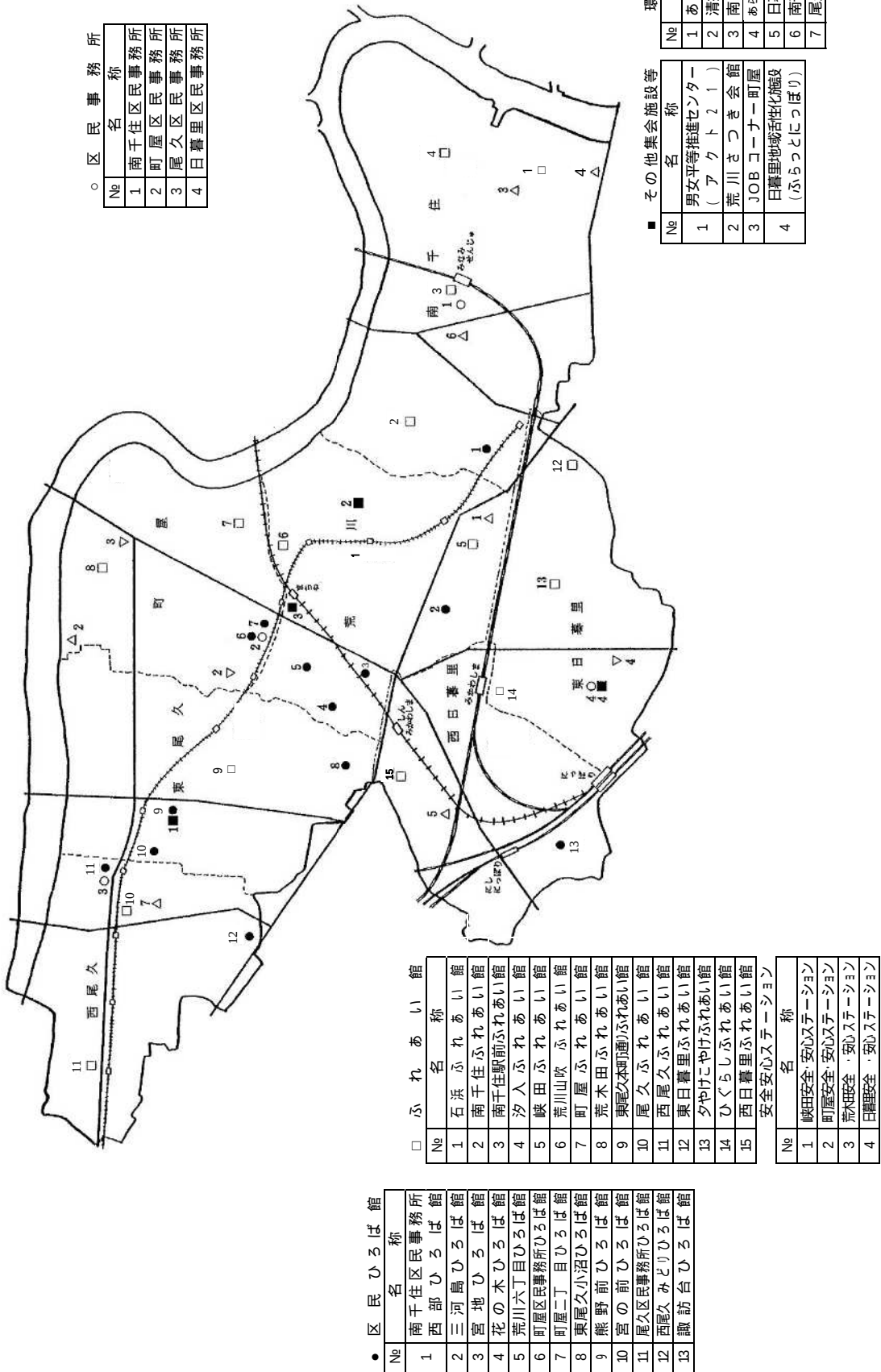
グリーンズポット等

No	名 称
1	町屋三丁目グリーンズボット
2	千住間道グリーンズボット
3	一本松グリーンズボット
4	西歌五丁目グリーンズボット
5	荒川三丁目グリーンズボット
6	西歌六丁目グリーンズボット
7	南千住浄水遊境越広 場
8	汐入せーせー広 場
9	西日暮里一丁目広 場
10	西日暮里六丁目遊び場
11	南千住六丁目緑地
12	南千住七丁目緑地
13	南千住八丁目緑地
14	荒川六丁目グリーンズボット
15	町屋四丁目グリーンズボット
16	荒川六丁目グリーンズボット
17	東八丁目グリーンズボット
18	荒川一丁目広 場
19	荒川五丁目グリーンズボット
20	町屋四丁目グリーンズボット
21	荒 匠一丁目グリーンズボット
22	駒込四丁目グリーンズボット
23	荒 匠二丁目北グリーンズボット
24	荒 匠一の森あさい広 場
25	真土小 荒 匠一の森あさい広 場

● 公

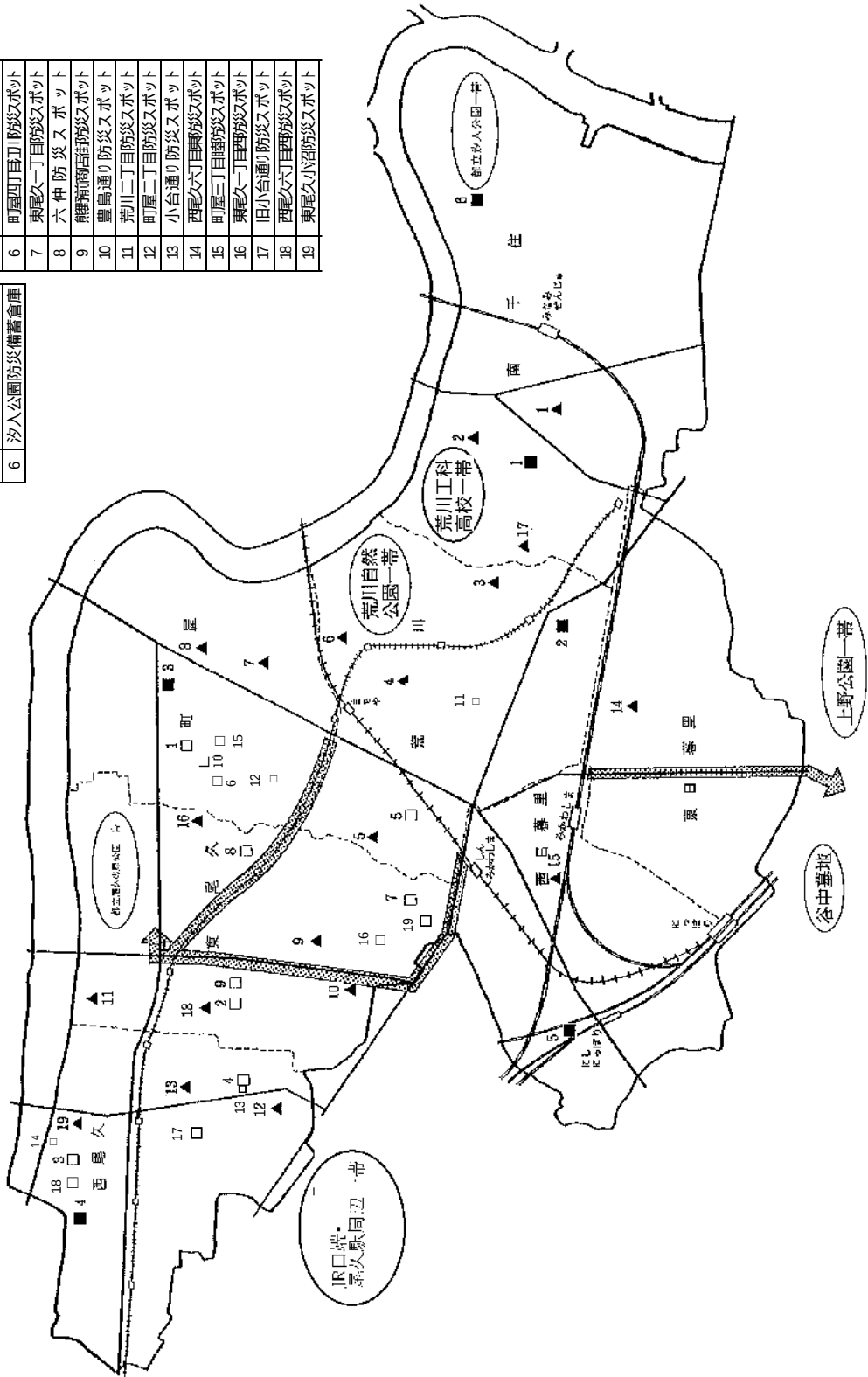
No	名称
1	荒川自然公園
2	荒川遊園
3	尾久小公園
4	三河島公園
5	尾久八幡公園
6	日暮里公園
7	日暮里南公園
8	尾竹橋公園
9	熊野前公園
10	瑞光公園
11	天王公園
12	荒川公園
13	荒川東公園
14	荒木田公園
15	藍染公園
16	西日暮里公園
17	荒川五丁目公園
18	東日暮里一丁目公園
19	荒川二丁目公園
20	町屋五丁目南公園
21	町屋五丁目北公園
22	西尾久四丁目公園
23	西尾久四丁目北公園
24	西日暮里六丁目公園
25	荒川三丁目公園
26	荒川八丁目公園
27	荒川二丁目南公園
28	荒川八丁目南公園
29	原公園
30	リバーパーク公園
31	真土公園
32	瑞光橋公園
33	町屋七丁目公園
34	町屋二丁目公園
35	宮前公園
36	南千住三丁目公園

区民事務所・ふれあい館・区民ひろば館・環境関連施設等位置図



広域避難所・防災広場等位置図

■ 備蓄倉庫		□ 防災スポット	
No	名称	No	名称
1	東京都南千住倉庫	1	町屋三丁目防災スポット
2	荒川防災備蓄倉庫	2	東尾久五丁目防災スポット
3	町屋備蓄倉庫	3	西尾久六丁目防災スポット
4	尾久備蓄倉庫	4	西尾久一丁目防災スポット
5	日暮里備蓄倉庫	5	花の木防災スポット
6	汐入公園防災備蓄倉庫	6	町屋四丁目防災スポット
		7	東尾久一丁目防災スポット
		8	六仲防災スポット
		9	鯉沼商店街防災スポット
		10	豊島通り防災スポット
		11	荒川二丁目防災スポット
		12	町屋二丁目防災スポット
		13	小台通り防災スポット
		14	西尾久六丁目防災スポット
		15	町屋三丁目防災スポット
		16	東尾久一丁目防災スポット
		17	旧小台通り防災スポット
		18	西尾久六丁目防災スポット
		19	東尾久小台防災スポット



▲ 防災広場	
No	名称
1	南千住五丁目防災広場
2	南千住六丁目防災広場
3	荒川一丁目防災広場
4	荒川二丁目防災広場
5	荒川七丁目防災広場
6	町屋一丁目防災広場
7	町屋八丁目防災広場
8	東尾久二丁目防災広場
9	東尾久四丁目防災広場
10	東尾久八丁目防災広場
11	西尾久一丁目防災広場
12	西尾久二丁目防災広場
13	西尾久三丁目防災広場
14	東日暮里一丁目防災広場
15	西日暮里一丁目防災広場
16	東尾久六丁目防災広場
17	南千住一丁目防災広場
18	東尾久五丁目防災広場
19	西尾久三丁目防災広場